

A61K 医療用製剤，歯科用製剤又は化粧品用製剤(薬物を特定の物理的または投与形態に変化させるのに特に適合した装置または方法 A 6 1 J 3 / 0 0 ; 空気の脱臭用品，殺菌または消毒用品，あるいは包帯，被覆用品，吸収性パッド，または手術用品のための物質の使用又は化学的事項 A 6 1 L ; 石鹸の組成 C 1 1 D)

注

(1) このサブクラスは，その組成物(混合物)としての表現であれ，組成物の製法としての表現であれ，または組成物を用いる治療方法としての表現であれ，次の主題を包含する。

(a) 以下のことが可能な医薬又は生物学的組成物：

寄生有機体を破壊するような手段によって生体の異常または病的状態を予防し，軽減し，処置または治癒させるか，あるいは宿主また寄生体の生理状態を化学的に変化させることによって疾病あるいは異常の程度を制限すること(殺生物剤 A 0 1 N 2 5 / 0 0 ~ A 0 1 N 6 5 / 0 0);

生理的身体機能を維持，増加，減少，制限，または破壊すること，例．ビタミン組成物，不妊剤，生殖阻害剤，生長促進剤など(無脊椎動物，例．昆虫，の不妊剤 A 0 1 N ; 植物生長調節剤 A 0 1 N 2 5 / 0 0 ~ A 0 1 N 6 5 / 0 0); [1 , 7]

生体内試験によって生理学的状態を診断すること，例．X線造影剤，スキンパッチテスト組成物(酵素または微生物を含む測定または試験方法 C 1 2 Q , 生物学的物質，例．血液，尿，の生体外テスト G 0 1 N , 例． G 0 1 N 3 3 / 4 8);

(b) 一般に人体を防臭，保護，美化あるいは清潔にするための人体処置組成物，例．化粧品，歯磨き，歯の充填剤

(2) Cセクションのタイトルの後の化学元素のグループの定義に注意すること

(3) クラス C 0 7 の注に注意する。例えば，サブクラス C 0 7 D のタイトルに続く注は，当該クラスにおける有機化合物の分類に適用される規則を前もって規定するが，他の指示がなければ，A 6 1 K における有機化合物分類にも適用される。[8]

(4) このサブクラスでは，グループ A 6 1 K 8 / 0 0 および A 6 1 K 4 0 / 0 0 を除き，ラストプレース優先ルールが適用される，すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り最後の適切な箇所に分類する。

(5) 医薬製剤の治療活性については，さらにサブクラス A 6 1 P にも分類する。[7]

サブクラス内の索引

歯科用製剤..... A 61 K 6/00

化粧品，香料..... A 61 K 8/00

薬剤の調製

形状に特徴があるもの..... A 61 K 9/00

活性成分に特徴があるもの

有機活性成分..... A 61 K 31/00, A 61 K 38/00

無機活性成分..... A 61 K 33/00

動物，原生生物，バクテリアまたはウイルスからの物質 A 61 K 35/00

藻類，菌類，地衣類，または植物からの物質..... A 61 K 36/00

抗原又は抗体を含むもの..... A 61 K 39/00

免疫療法のための細胞を含むもの..... A 61 K 40/00

波動エネルギーまたは粒子線で物質を処理することにより得

られるもの..... A 61 K 41/00, A 61 K 51/00

その他の活性成分..... A 61 K 45/00

担体..... A 61 K 47/00

遺伝子物質を含有する医療用製剤，遺伝子治療... A 61 K 48/00

生体内での検査のためのもの A 61 K 49/00, A 61 K 50/00, A 61 K 51/00

6/00 歯科用製剤 [2 0 2 0 . 0 1]

6/15 ・それらの物理的特性に特徴のある組成物 [2 0 2 0 . 0 1]

6/16 ・屈折率 [2 0 2 0 . 0 1]

6/17 ・粒子径 [2 0 2 0 . 0 1]

6/18 ・歯科退縮を引き起こすもの，例．歯科用押印作製または抜歯のための歯肉溝拡張用の組成物 [2 0 2 0 . 0 1]

6/19 ・自己膨張，例．歯の充填のための [2 0 2 0 . 0 1]

6/20 ・自然歯または人工歯のための保護被覆，例．密封，染料被覆またはワニス [2 0 2 0 . 0 1]

6/25 ・検出または測定のための組成物，例．自然歯または人工歯の異常 [2 0 2 0 . 0 1]

6/30 ・一時的にまたは永久的に歯または口蓋を固定するための組成物，例．歯科用接着剤用プライマー [2 0 2 0 . 0 1]

6/35 ・口内の義歯を安定させるための製剤 [2 0 2 0 . 0 1]

6/40 ・プライマー(歯科用接着剤用のもの A 6 1 K 6 / 3 0) [2 0 2 0 . 0 1]

6/50 ・歯根処理に特に適合した製剤 [2 0 2 0 . 0 1]

6/52 ・洗浄；殺菌 [2 0 2 0 . 0 1]

6/54 ・充填；密封 [2 0 2 0 . 0 1]

6/56 ・根尖治療 [2 0 2 0 . 0 1]

6/58 ・歯科インプラントに特に適合したもの [2 0 2 0 . 0 1]

6/60 ・有機または有機金属添加物を含むもの [2 0 2 0 . 0 1]

6/61 ・陽イオン性，陰イオン性または酸化還元開始剤 [2 0 2 0 . 0 1]

6/62 ・光化学ラジカル開始剤 [2 0 2 0 . 0 1]

6/64 ・熱ラジカル開始剤 [2 0 2 0 . 0 1]

6/65 ・染料 [2 0 2 0 . 0 1]

6/66 ・フォトクロミック染料 [2 0 2 0 . 0 1]

6/68 ・サーモクロミック染料 [2 0 2 0 . 0 1]

6/69 ・医薬品 [2 0 2 0 . 0 1]

6/70 ・無機添加物を含むもの [2 0 2 0 . 0 1]

6/71 ・充填剤 [2 0 2 0 . 0 1]

6/72 ・窒素含有化合物を含むもの [2 0 2 0 . 0 1]

A 6 1 K

6/73	・ ・ ・ 硫黄含有化合物を含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	6/856	・ ・ ・ ポゾラン [2 0 2 0 . 0 1]
6/74	・ ・ ・ リン含有化合物を含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	6/858	・ ・ ・ 硫酸カルシウム , 例 . 石こう [2 0 2 0 . 0 1]
6/75	・ ・ ・ ・ アパタイト [2 0 2 0 . 0 1]	6/86	・ ・ ・ A 1 - セメント [2 0 2 0 . 0 1]
6/76	・ ・ ・ ケイ素含有化合物を含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	6/862	・ ・ ・ C a - A 1 - 硫酸 - セメント [2 0 2 0 . 0 1]
6/77	・ ・ ・ ガラス [2 0 2 0 . 0 1]	6/864	・ ・ ・ 燐酸セメント (アパタイト A 6 1 K 6 / 8 3 8) [2 0 2 0 . 0 1]
6/78	・ ・ 顔料 [2 0 2 0 . 0 1]	6/867	・ ・ ・ アンモニウムセメント [2 0 2 0 . 0 1]
6/79	・ ・ 開始剤 [2 0 2 0 . 0 1]	6/869	・ ・ ・ ゼオライト [2 0 2 0 . 0 1]
6/80	・ 人工歯 , 充填歯または被覆歯のための製剤 [2 0 2 0 . 0 1]	6/871	・ ・ ・ 石英 ; S i O 2 [2 0 2 0 . 0 1]
6/802	・ ・ セラミックスを含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	6/873	・ ・ ・ 炭酸塩 [2 0 2 0 . 0 1]
6/804	・ ・ ・ 酸化マンガンを含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	6/876	・ ・ ・ 酸化カルシウム [2 0 2 0 . 0 1]
6/807	・ ・ ・ 酸化マグネシウムを含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	6/878	・ ・ ・ 酸化ジルコニウム [2 0 2 0 . 0 1]
6/809	・ ・ ・ 酸化ベリリウムを含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	6/88	・ ・ ・ 酸化クロム [2 0 2 0 . 0 1]
6/811	・ ・ ・ 酸化クロムを含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	6/882	・ ・ ・ 炭化物 [2 0 2 0 . 0 1]
6/813	・ ・ ・ 酸化鉄を含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	6/884	・ ・ 天然または合成樹脂を含むもの [2 0 2 0 . 0 1]
6/816	・ ・ ・ 酸化チタンを含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	6/887	・ ・ ・ 炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られる化合物 [2 0 2 0 . 0 1]
6/818	・ ・ ・ 酸化ジルコニウムを含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	6/889	・ ・ ・ ・ ポリカルボン酸セメント ; グラスアイオノマーセメント [2 0 2 0 . 0 1]
6/82	・ ・ ・ 酸化ハフニウムを含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	6/891	・ ・ ・ 炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られる化合物 [2 0 2 0 . 0 1]
6/822	・ ・ ・ 希土類金属酸化物を含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	6/893	・ ・ ・ ・ ポリウレタン [2 0 2 0 . 0 1]
6/824	・ ・ ・ 遷移金属酸化物を含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	6/896	・ ・ ・ ・ ポリオルガノシリコン化合物 [2 0 2 0 . 0 1]
6/827	・ ・ ・ 白榴石 [2 0 2 0 . 0 1]	6/898	・ ・ ・ 多糖類 [2 0 2 0 . 0 1]
6/829	・ ・ サーマット - 複合物を含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	6/90	・ 歯科用押印採取のための組成物 [2 0 2 0 . 0 1]
6/831	・ ・ 非金属元素またはそれらの化合物を含むもの , 例 . 炭素 [2 0 2 0 . 0 1]	8/00	化粧品あるいは類似化粧品製剤 [2 0 0 6 . 0 1]
6/833	・ ・ ・ ガラス - セラミック - 複合物 [2 0 2 0 . 0 1]	注 化粧品または類似化粧品製剤の使用は , サブクラス A 6 1 Q に も分類する。	
6/836	・ ・ ・ ガラス [2 0 2 0 . 0 1]	8/02	・ 特別な物理的形態に特徴があるもの [8]
6/838	・ ・ ・ 燐化合物 , 例 . アパタイト [2 0 2 0 . 0 1]	注 このグループにおいては , ラストブレイス優先ルールが適用さ れる , すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がないとき は , 最後の適切な箇所に分類する。 [8]	
6/84	・ ・ 金属または合金を含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	8/03	・ ・ 2 またはそれ以上の異なる層を有する 液状組成物 [8]
6/842	・ ・ ・ 希土類金属 [2 0 2 0 . 0 1]	8/04	・ ・ 分散 , 乳化 [8]
6/844	・ ・ ・ 貴金属 [2 0 2 0 . 0 1]	8/06	・ ・ ・ 乳化 [8]
6/847	・ ・ ・ アマルガム [2 0 2 0 . 0 1]	8/11	・ ・ カプセル化された組成物 [8]
6/849	・ ・ 無機セメントを含むもの [2 0 2 0 . 0 1]	8/14	・ ・ リボソーム [8]
6/851	・ ・ ・ ボルトランドセメント [2 0 2 0 . 0 1]	8/18	・ 組成に特徴があるもの [8]
6/853	・ ・ ・ ケイ酸塩 [2 0 2 0 . 0 1]	注 このグループにおいては , ラストブレイス優先ルールが適用さ れる , すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がないとき	

は、最後の適切な箇所に分類する。[8]

- 8/19 ・ ・ 無機配合成分を含むもの [8]
- 8/20 ・ ・ ・ ハロゲン；その化合物 [8]
- 8/21 ・ ・ ・ ・ ふっ化物；その誘導体 [8]
- 8/22 ・ ・ ・ 過酸化物；酸素；オゾン [8]
- 8/23 ・ ・ ・ 硫黄；セレン；テルル；その化合物
[8]
- 8/24 ・ ・ ・ リン；その化合物 [8]
- 8/25 ・ ・ ・ シリコン；その化合物 [8]
- 8/26 ・ ・ ・ アルミニウム；その化合物 [8]
- 8/27 ・ ・ ・ 亜鉛；その化合物 [8]
- 8/28 ・ ・ ・ ジルコニウム；その化合物 [8]
- 8/29 ・ ・ ・ チタン；その化合物 [8]
- 8/30 ・ ・ 有機化合物を含むもの [8]
- 8/31 ・ ・ ・ 炭化水素 [8]
- 8/33 ・ ・ ・ 酸素を含むもの [8]
- 8/34 ・ ・ ・ ・ アルコール [8]
- 8/35 ・ ・ ・ ・ ケトン，例．キノン，ベンゾフェ
ノン [8]
- 8/36 ・ ・ ・ ・ カルボン酸；その塩または無水物
[8]
- 8/362 ・ ・ ・ ・ ・ ポリカルボン酸 [8]
- 8/365 ・ ・ ・ ・ ・ ヒドロキシカルボン酸；ケトカ
ルボン酸 [8]
- 8/368 ・ ・ ・ ・ ・ 芳香族環の炭素原子に直接結合
したカルボン基を有するもの [8]
- 8/37 ・ ・ ・ ・ カルボン酸エステル [8]
- 8/38 ・ ・ ・ ・ 過酸化物，例．過酸 [8]
- 8/39 ・ ・ ・ ・ 2 から 1 0 のオキシアルキレン基
を含む誘導体 [8]
- 8/40 ・ ・ ・ 窒素を含むもの（窒素を含むキノ
ン A 6 1 K 8 / 3 5) [8]
- 8/41 ・ ・ ・ ・ アミン [8]
- 8/42 ・ ・ ・ ・ アミド [8]
- 8/43 ・ ・ ・ ・ グアニジン [8]
- 8/44 ・ ・ ・ ・ アミノカルボン酸またはその誘導
体，例．硫黄を含むアミノカルボン酸；
塩，エステルまたはその N アシル化誘導
体 [8]
- 8/45 ・ ・ ・ ・ 2 から 1 0 のオキシアルキレン基
を含む誘導体 [8]
- 8/46 ・ ・ ・ 硫黄を含むもの（ A 6 1 K 8 / 4 4
が優先) [8]
- 8/49 ・ ・ ・ 複素環式化合物を含むもの [8]
- 8/55 ・ ・ ・ りんを含むもの [8]
- 8/58 ・ ・ ・ 炭素，水素，ハロゲン，酸素，窒素，
硫黄またはりん以外の原子を含むもの
[8]
- 8/60 ・ ・ ・ 糖類；その誘導体 [8]
- 8/63 ・ ・ ・ ステロイド；その誘導体 [8]

注

このグループには、サブクラス C 0 7 J のタイトルに続く注
(1) で定義されているステロイドが含まれる。[8]

- 8/64 ・ ・ ・ 蛋白質；ペプチド；その誘導体また
は分解生成物 [8]
- 8/65 ・ ・ ・ ・ コラーゲン；ゼラチン；ケラチン；
その誘導体または分解生成物 [8]
- 8/66 ・ ・ ・ ・ 酵素 [8]
- 8/67 ・ ・ ・ ・ ビタミン [8]
- 8/68 ・ ・ ・ スフィンゴリピド，例．セラミド，
セレブロシド，ガングリオシド [8]
- 8/69 ・ ・ ・ フッ素を含むもの [8]
- 8/70 ・ ・ ・ ・ パーフルオロ基を含むもの，例．
パーフルオロエーテル [8]
- 8/72 ・ ・ 有機高分子化合物を含むもの [8]
- 8/73 ・ ・ ・ 多糖類 [8]
- 8/81 ・ ・ ・ 炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与す
る反応によって得られるもの [8]
- 8/84 ・ ・ ・ 炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与す
る反応以外の反応によって得られるもの
[8]
- 8/85 ・ ・ ・ ・ ポリエステル [8]
- 8/86 ・ ・ ・ ・ ポリエーテル [8]
- 8/87 ・ ・ ・ ・ ポリウレタン [8]
- 8/88 ・ ・ ・ ・ ポリアミド [8]
- 8/89 ・ ・ ・ ・ ポリシロキサン [8]
- 8/891 ・ ・ ・ ・ ・ 飽和状態にあるもの，例．ジメ
チコン，フェニルトリメチコン，C 2 4
- C 2 8 メチコン又はステアリル・ジメ
チコン [8]
- 8/892 ・ ・ ・ ・ ・ ヒドロキシ基により修飾され
ているもの，例．ジメチコノール [8]
- 8/893 ・ ・ ・ ・ ・ アルコキシ又はアリルオキシ
基により修飾されているもの，例．ベヘ
ノキシジメチコン又はステアロキシジメ
チコン [8]
- 8/894 ・ ・ ・ ・ ・ ポリオキシアルキレン基によ
り修飾されているもの，例．セチルジメ
チコンコポリオール [8]
- 8/895 ・ ・ ・ ・ ・ 不飽和の脂肪族基に結合したシ
リコンを含むもの，例．ビニルジメチコ
ン [8]
- 8/896 ・ ・ ・ ・ ・ シリコン，炭素，酸素および水
素以外の原子を含むもの，例．リン酸ジ
メチコンコポリオール [8]
- 8/897 ・ ・ ・ ・ ・ ハロゲンを含むもの，例．フ
ルオロシリコン [8]
- 8/898 ・ ・ ・ ・ ・ 窒素を含むもの，例．アモジ
メチコン，トリメチルシリルアモジメチ
コン又はジメチコンプロピル P G ベタイ
ン [8]
- 8/899 ・ ・ ・ ・ ・ 硫黄を含むもの，例．P G プ
ロピルジメチコンチオ硫酸 Na コポリオ
ール [8]
- 8/90 ・ ・ ・ ブロック共重合体（ A 6 1 K 8 / 8
9 が優先) [8]

A 6 1 K

8/91	・・・グラフト共重合体 (A 6 1 K 8 / 8 9が優先) [8]	9/113	・・・複合エマルジョン, 例. 油 / 水 / 油 [5]
8/92	・・・油, 脂肪またはろう; その誘導体, 例. 水素化物 [8]	9/12	・・・エアゾール; 泡沫剤 [2 , 3]
8/96	・・・構造不明の物質またはその誘導体を含 むもの [8]	9/127	・・・合成二重層ビヒクル, 例. リボソーム または唯一の非ホスファチジル界面活性 剤としてコレステロールを含むリボソ ーム [2 0 2 5 . 0 1]
8/97	・・・藻類, 菌類, 地衣類または植物由来 のもの; それらの派生物由来のもの [2 0 1 7 . 0 1]	9/1271	・・・非従来のなリボソーム, 例. P E G 化リボソーム, またはポリマーで被覆さ れたまたはグラフト化されたリボソーム (結合体としてのリボソーム A 6 1 K 4 7 / 6 9) [2 0 2 5 . 0 1]
8/9706	・・・藻類 [2 0 1 7 . 0 1]	9/1272	・・・二重層形成物質としての非ホスフ ァチジル界面活性剤を含むもの, 例. カ チオン性脂質またはポリマーで被覆さ れたまたはグラフト化された非ホスファ チジルリボソーム (修飾剤としての脂質 A 6 1 K 4 7 / 5 4) [2 0 2 5 . 0 1]
8/9711	・・・褐藻植物 [褐藻類], 例. ヒバマ タ [2 0 1 7 . 0 1]	9/1273	・・・ポリマーソーム; 重合可能なまた は重合した二重層形成物質を含むリボ ソーム [2 0 2 5 . 0 1]
8/9717	・・・紅藻植物 [紅藻類], 例. ノリ [2 0 1 7 . 0 1]	9/1274	・・・非ベシクルの二重層構造, 例. 液晶, 細管, キュービック相またはコクリエー ト; スポンジ相 [2 0 2 5 . 0 1]
8/9722	・・・緑藻植物 [緑藻類], 例. クロレ ラ [2 0 1 7 . 0 1]	9/1275	・・・リポ蛋白またはその非蛋白質部分, 例. カイロミクロン; 人工高密度リポ蛋 白 [H D L], 低密度リポ蛋白 [L D L] または超低密度リポ蛋白 [V L D L]; こ れらの前駆体 [2 0 2 5 . 0 1]
8/9728	・・・菌類, 例. 酵母 [2 0 1 7 . 0 1]	9/1276	・・・乳脂肪球; その構成成分 [2 0 2 5 . 0 1]
8/9733	・・・地衣類 [2 0 1 7 . 0 1]	9/1277	・・・調製プロセス; プロリポソーム [2 0 2 5 . 0 1]
8/9739	・・・コケ植物門 [コケ類] [2 0 1 7 . 0 1]	9/1278	・・・ポストローディング, 例. イオン 勾配またはp H勾配によるもの [2 0 2 5 . 0 1]
8/9741	・・・シダ植物門 [シダ類] [2 0 1 7 . 0 1]	9/14	・・・粒状剤, 例. 散剤 (マイクロカプセル A 6 1 K 9 / 5 0) [2]
8/9749	・・・シダ綱 [2 0 1 7 . 0 1]	9/16	・・・塊状剤; 顆粒剤; マイクロビーズレ ット [2]
8/9755	・・・裸子植物門 [球果植物門] [2 0 1 7 . 0 1]	9/18	・・・吸着剤 [2]
8/9761	・・・ヒノキ科 [イトスギ科], 例. ビ ャクシンまたはイトスギ [2 0 1 7 . 0 1]	9/19	・・・凍結乾燥によるもの [6]
8/9767	・・・マツ科, 例. マツまたはヒマラ ヤスギ [2 0 1 7 . 0 1]	9/20	・・・丸剤, ひし形剤または錠剤 [2]
8/9771	・・・イチョウ門, 例. イチョウ科 [2 0 1 7 . 0 1]	9/22	・・・持続または徐放型のもの [2]
8/9778	・・・マオウ門, 例. マオウ科 [モルモ ンティー科] [2 0 1 7 . 0 1]	9/24	・・・層状または薄片状の単一投与形体 [2]
8/9783	・・・被子植物門 [2 0 1 7 . 0 1]	9/26	・・・支持体中に別個の粒子を有するもの [2]
8/9789	・・・モクレン綱 [双子葉植物] [2 0 1 7 . 0 1]	9/28	・・・糖衣錠; 被覆された丸剤または錠剤 [2]
8/9794	・・・ユリ綱 [単子葉植物] [2 0 1 7 . 0 1]	9/30	・・・有機被覆剤 [2]
8/98	・・・動物由来のもの [8]	9/32	・・・固体合成ポリマーを含有するもの [2]
8/99	・・・藻類または菌類以外の微生物由来の もの, 例. 原生動物またはバクテリア [2 0 1 7 . 0 1]	9/34	・・・天然ゴムまたは樹脂を含有するも の [2]
9/00	特別な物理的形態によって特徴づけられた 医薬品の製剤		
9/02	・・・座剤; プジャー; 座剤またはプジャー用基剤 (製造装置 A 6 1 J 3 / 0 8 ; 体内に導 入するための器具 A 6 1 M 3 1 / 0 0)		
9/06	・・・軟膏; 軟膏基剤 (製造装置 A 6 1 J 3 / 0 4)		
9/08	・・・溶液剤 [2 , 3]		
9/10	・・・分散剤; 乳剤 [2 , 3]		
9/107	・・・エマルジョン [5]		

- 9/36 ・・・・炭水化物またはその誘導体を含有するもの(A 6 1 K 9 / 3 4 が優先) [2]
- 9/38 ・・・・蛋白質またはその誘導体を含有するもの [2]
- 9/40 ・・・・ゼラチン含有のもの [2]
- 9/42 ・・・・ろう, 高級脂肪酸, 高級脂肪アルコールまたはそれらの誘導体, 例 . チョコレート, を含有するもの [2]
- 9/44 ・印刷された, 浮彫りのある, みぞ付きのまたは穴のあいたもの [2]
- 9/46 ・・起油性のもの [2]
- 9/48 ・カプセル製剤, 例 . ゼラチン製のもの, チョコレート製のもの [2]
- 9/50 ・・マイクロカプセル (A 6 1 K 9 / 5 2 が優先) [2]
- 9/51 ・・・ナノカプセル [5]
- 9/52 ・・持続または徐放型のもの [2]
- 9/54 ・・異なる厚さまたは異なる物質で被覆された粒子を種々含有するもの [2]
- 9/56 ・・・・有機被覆剤 [2]
- 9/58 ・・・・固体合成ポリマーを含有するもの [2]
- 9/60 ・・・・天然ゴムまたは樹脂を含有するもの [2]
- 9/62 ・・・・炭水化物またはその誘導体を含有するもの (A 6 1 K 9 / 6 0 が優先) [2]
- 9/64 ・・・・蛋白質またはその誘導体を含有するもの [2]
- 9/66 ・・・乳剤, 分散剤または溶液剤を含有するもの [2]
- 9/68 ・チュウイングガム型 [2]
- 9/70 ・布, シートまたは繊維基材 [2]
- 9/72 ・喫煙用または吸入用医薬品製剤 [2]

注

(1) 組成物, すなわち 2 以上の成分の混合物は, これらの成分のうち少なくとも 1 つを規定しているグループ 3 1 / 0 0 ~ 4 7 / 0 0 のうち最後のグループに分類する。その成分は単一の化合物またはその他の単一の構成要素であることもある。[8]

(2) 注 (1) による分類では特定されず, それ自体が新規かつ非自明であると判断された組成物の何れの部分も, グループ 3 1 / 0 0 ~ 4 7 / 0 0 の最後の適切な箇所にも分類しなければならない。この部分は, 単一の成分または組成物自体の何れかであり得る。[8]

(3) 注 (1) または (2) による分類では特定されず, 検索に重要な情報であると思われる組成物の何れの部分も, グループ 3 1 / 0 0 ~ 4 7 / 0 0 の最後の適切な箇所にも分類することができる。これは, 例えば分類記号の組合わせを使用した組成物の検索が可能なることが有益であると考えられる場合などにあり得る。このような非義務的分类は, “付加情報” として表示すべきである。[8]

31/00 有機活性成分を含有する医薬品製剤 [2]

注

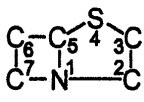
(1) 重金属と塩または複合体を形成する活性成分である有機化合物は, これに反する指示がない限り, グループ 3 1 / 2 8 , 3 1 / 5 5 5 または 3 1 / 7 1 3 5 には分類されない。すなわち, ヘミン 3 1 / 5 5 5 [7]

(2) このグループにおいて, “さらに複素環を含む” および “複素環と縮合した” という表現には, 2 以上の複素環を有する化合物を包含する。[7]

- 31/01 ・炭化水素 [2]
- 31/015 ・・炭素環式のもの [2]
- 31/02 ・ハロゲン化炭化水素 [2]
- 31/025 ・・炭素環式のもの [2]
- 31/03 ・・・芳香族のもの [2]
- 31/035 ・・脂肪族不飽和結合を有するもの [2]
- 31/04 ・ニトロ化合物 [2]
- 31/045 ・ヒドロキシ化合物, 例 . アルコール; その塩, 例 . アルコラート (ヒドロパーオキシド A 6 1 K 3 1 / 3 2 7) [2 , 7]
- 31/047 ・・2 またはそれ以上のヒドロキシ基を持つもの, 例 . ソルビトール [7]
- 31/05 ・・フェノール [2]
- 31/055 ・・・芳香族環がハロゲンで置換されているもの [2]
- 31/06 ・・・芳香族環がニトロ基で置換されているもの [2]
- 31/065 ・・ジフェニル置換非環式アルコール [2]
- 31/07 ・・レチノール化合物, 例 . ビタミン A (レチノイン酸 A 6 1 K 3 1 / 2 0 3) [2 , 7]
- 31/075 ・エーテルまたはアセタール [2]
- 31/08 ・・非環式のもの, 例 . パラホルムアルデヒド [2]
- 31/085 ・・芳香族環の核炭素にエーテル結合を有するもの [2]
- 31/09 ・・・その結合が 2 個以上のもの [2]
- 31/095 ・硫黄, セレンまたはテルル化合物, 例 . チオール [2]
- 31/10 ・・スルフィド; スルフォキシド; スルフォン [2]
- 31/105 ・・過硫化物 (チウラムジスルフィド A 6 1 K 3 1 / 1 4 5 , チオスルホン酸 A 6 1 K 3 1 / 1 8 5) [2]
- 31/11 ・アルデヒド [2]
- 31/115 ・・ホルムアルデヒド [2]
- 31/12 ・ケトン [2]
- 31/121 ・・非環式のもの [7]
- 31/122 ・・環に直接結合した酸素を持つもの, 例 . キノン, ビタミン K₁, アントラリン [7]
- 31/125 ・・・樟脳; その核置換誘導体 [2]
- 31/13 ・アミン, 例 . アマンタジン (A 6 1 K 3 1 / 0 4 が優先) [2]
- 31/131 ・・非環式のもの [7]
- 31/132 ・・2 以上のアミノ基を有するもの, 例 .

- スベルミジン, プトレシン [7]
- 31/133 ・ ・ 水酸基を有するもの, 例 . スフィンゴシン [7]
- 31/135 ・ ・ 芳香族環を持つもの, 例 . メタドン [2 , 7]
- 31/136 ・ ・ ・ 芳香族環に直接結合したアミノ基を持つもの, 例 . ベンゼンアミン [7]
- 31/137 ・ ・ ・ アリールアルキルアミン, 例 . アンフェタミン, エピネフリン, サルブタモール, エフェドリン [7]
- 31/138 ・ ・ ・ アリールオキシアルキルアミン, 例 . プロプラノロール, タモキシフェン, フェノキシベンズアミン (アテノロール A 6 1 K 3 1 / 1 6 5 ; ピンドロール A 6 1 K 3 1 / 4 0 4 ; チモロール A 6 1 K 3 1 / 5 3 7 7) [7]
- 31/14 ・ ・ 第 4 級アンモニウム化合物, 例 . エドロフオニウム, コリン (ベタイン A 6 1 K 3 1 / 2 0 5) [2]
- 31/145 ・ ・ 硫黄原子を持つもの, 例 . チウラム ($>N-C(=S)-S-C(=S)-N<$ または $>N-C(=S)-S-S-C(=S)-N<$); スルフィニルアミン ($-N=SO$); スルフォニルアミン ($-N=SO_2$) (イソチオ尿素 A 6 1 K 3 1 / 1 5 5) [2 , 7]
- 31/15 ・ ・ オキシム ($>C=N-O-$); ヒドラジン ($>N-N<$); ヒドラゾン ($>N-N=$) [2]
- 31/155 ・ ・ アミジン ($-N=\overset{I}{C}-N<$), 例 . グアニジン ($H_2N-C(=NH)-NH_2$), イソ尿素 ($N=C(OH)-NH_2$), イソチオ尿素 ($-N=C(SH)-NH_2$) [2]
- 31/16 ・ アミド, 例 . ヒドロキサム酸 [2]
- 31/164 ・ ・ アミノアルコールとカルボン酸とのアミド, 例 . セラミド [7]
- 31/165 ・ ・ 芳香族環を持つもの, 例 . コルヒチン, アテノロール, プロガバイド [2]
- 31/166 ・ ・ ・ カルボキシアミド基の炭素が芳香族環に直接結合したもの, 例 . プロカインアミド, プロカルバジン, メトクロプラミド, ラベタロール [7]
- 31/167 ・ ・ ・ カルボキシアミド基の窒素が芳香族環に直接結合したもの, 例 . リドカイン, パラセタモール [7]
- 31/17 ・ ・ 基 $>N-C(O)-N<$ または $>N-C(S)-N<$ を持つもの, 例 . 尿素, チオ尿素, カルムスチン (イソ尿素, イソチオ尿素 A 6 1 K 3 1 / 1 5 5 ; スルフォニル尿素 A 6 1 K 3 1 / 6 4) [2 , 7]
- 31/175 ・ ・ ・ 基 $>N-C(O)-\overset{I}{N}-N<$, $N-C(O)-N=N-$ または $>N-C(O)-\overset{I}{N}-N=$ を持つもの, 例 . カルバジド, すなわちカルボノヒドラジド, カルバゾン, セミカルバジド, セミカルバゾン; それらのチオ類似体 [2 , 7]
- 31/18 ・ ・ スルフォンアミド (パラ - N - ベンゼン - スルフォニル - N - 基を含有する化合物 A 6 1 K 3 1 / 6 3) [2]
- 31/185 ・ 酸; その無水物, ハロゲン化物または塩, 例 . 硫黄の酸, イミド酸, ヒドラゾン酸, ヒドロキシム酸 (ヒドロキサム酸 A 6 1 K 3 1 / 1 6 ; 過酸素酸 A 6 1 K 3 1 / 3 2 7) [2 , 7]
- 31/19 ・ ・ カルボン酸, 例 . バルプロ酸 (サリチル酸 A 6 1 K 3 1 / 6 0) [2 , 7]
- 31/191 ・ ・ ・ 2 個以上のヒドロキシ基を持つ非環式酸, 例 . グルコン酸 [7]
- 31/192 ・ ・ ・ 芳香族基を持つもの, 例 . スリンダク, 2 - アリール - プロピオン酸, エタクリン酸 [2 0 0 6 . 0 1]
- 31/194 ・ ・ ・ 2 個以上のカルボキシル基を持つもの, 例 . コハク酸, マレイン酸, フタル酸 [7]
- 31/195 ・ ・ ・ アミノ基を持つもの [2 , 7]
- 注
このグループにおいては, “アミノ基” は “アシル・アミノ基” も包含する。 [7]
- 31/196 ・ ・ ・ ・ アミノ基が環に直接結合しているもの, 例 . アントラニル酸, メフェナム酸, ジクロフェナック, クロラムブシル [7]
- 31/197 ・ ・ ・ ・ アミノ基とカルボキシル基とが同一の非環式の炭素鎖に結合しているもの, 例 . - アミノ酪酸 [GABA], - アラニン, - アミノカプロン酸またはパントテン酸 (カルニチン A 6 1 K 3 1 / 2 0 5) [2 0 0 6 . 0 1]
- 31/198 ・ ・ ・ ・ ・ アミノ酸, 例 . アラニンまたはエデト酸 [EDTA] (ベタイン A 6 1 K 3 1 / 2 0 5 ; プロリン A 6 1 K 3 1 / 4 0 1 ; トリプトファン A 6 1 K 3 1 / 4 0 5 ; ヒスチジン A 6 1 K 3 1 / 4 1 7 2 ; 個々のアミノ酸まで分解されていないペプチド A 6 1 K 3 8 / 0 0) [2 0 0 6 . 0 1]
- 31/20 ・ ・ ・ 7 個以上の炭素原子鎖に結合したカルボキシル基を持つもの, 例 . ステアリン酸, パルミチン酸, アラキドン酸 [2]
- 31/201 ・ ・ ・ ・ 1 個又は 2 個の二重結合を持つもの

	の, 例. オレイン酸, リノール酸 [7]	31/28	・重金属を含有する化合物 [2]
31/202	・・・・3 個以上の二重結合を持つもの, 例. リノレン酸 (エイコサノイド, 例. ロイコトリエン A 6 1 K 3 1 / 5 5 7) [7]	31/282	・白金化合物 [7]
31/203	・・・・レチノイン酸 [7]	31/285	・砒素化合物 [2]
31/205	・有機酸のアミン付加塩; 分子内第 4 級アンモニウム塩, 例. ベタイン, カルニチン [2]	31/29	・アンチモンまたはビスマス化合物 [2]
31/21	・エステル, 例. ニトログリセリン, セレノシアネート [2]	31/295	・鉄族金属化合物 [2]
31/215	・カルボン酸のエステル [2]	31/30	・銅化合物 [2]
31/216	・芳香族環を持つ酸のエステル, 例. ペナクチジン, クロフィプレート [7]	31/305	・水銀化合物 [2]
31/22	・非環式酸のエステル, 例. プラバスタチン [2]	31/31	・窒素を含有するもの [2]
31/221	・アミノ基を持つ化合物とのもの, 例. アセチルコリン, アセチルカルニチン [7]	31/315	・亜鉛化合物 [2]
31/222	・芳香族基を持つ化合物とのもの, 例. ジピペフリン, イボパミン [7]	31/32	・錫化合物 [2]
31/223	・アミノ酸のエステル [7]	31/325	・カルバミン酸; チオカルバミン酸; それらの無水物または塩 (チウラム A 6 1 K 3 1 / 1 4 5) [2]
31/225	・ポリカルボン酸 [2]	31/327	・パーオキシ化合物, 例. ヒドロパーオキサイド, パーオキサイド, 過酸 [7]
31/23	・7 個以上の炭素原子鎖に結合したカルボキシル基を持つ酸のエステル [2]	31/33	・複素環式化合物 [2]
31/231	・1 個又は 2 個の二重結合を持つもの [7]	31/335	・環異種原子として酸素のみを持つもの, 例. フンギクロミン [2]
31/232	・3 個以上の二重結合を持つもの, 例. エトレチナート [7]	31/336	・3 員環を持つもの, 例. オキシラン, フマギリン [7]
31/235	・カルボキシル基に結合する芳香環をもつもの [2]	31/337	・4 員環を持つもの, 例. タキソール [7]
31/24	・アミノまたはニトロ基をもつもの [2]	31/34	・環異種原子として 1 個の酸素のみを有する 5 員環を持つもの, 例. イソソルビド [2]
31/245	・アミノ安息香酸型のもの, 例. プロカイン, ノボカイン (サリチル酸エステルを含有する製剤 A 6 1 K 3 1 / 6 0) [2]	31/341	・他の環と縮合していないもの, 例. ラニチジン, フロセミド, プフェトロール, ムスカリン [7]
31/25	・ポリオキシアルキル化アルコールとのもの (ポリエチレングリコールのエステル) [2]	31/343	・炭素環と縮合したもの, 例. クマラン, プフラロール, ペフノロール, クロベンフロール, アミオオダロン [7]
31/255	・硫黄の酸素酸またはその硫黄類似体のエステル [2]	31/345	・ニトロフラン (ニトロフラニトイン A 6 1 K 3 1 / 4 1 7 8) [2 , 7]
31/26	・シアナートまたはイソシアナートエステル; チオシアナートまたはイソチオシアナートエステル [2 , 7]	31/35	・異種原子として 1 個の酸素のみを有する 6 員環を持つもの [2]
31/265	・炭酸, チオ炭酸またはチオカルボン酸のエステル, 例. チオ酢酸, キサントゲン酸, トリチオ炭酸 [2]	31/351	・他の環と縮合していないもの [7]
31/27	・カルバミン酸またはチオカルバミン酸のエステル, 例. メプロバメート, カルバコール, ネオスチグミン [2]	31/352	・炭素環と縮合したもの, 例. カンナピノール, メタンテリン [7]
31/275	・ニトリル; イソニトリル [2]	31/353	・3 , 4 - ジヒドロベンゾピラン, 例. クロマン, カテキン (トコフェロール A 6 1 K 3 1 / 3 5 5) [7]
31/277	・環式基を持つもの, 例. ペラパミル [7]	31/355	・トコフェロール, 例. ビタミン E [2]
		31/357	・2 個以上の酸素原子が同一環中に有するもの, 例. クラウンエーテル, グアナドレル [7]
		31/36	・メチレンジオキシフェニル基を有する化合物, 例. セサミン [2]
		31/365	・ラクトン [2]
		31/366	・6 員環を持つもの, 例. - ラクトン [7]
		31/37	・クマリン, 例. プソラレン [2]
		31/375	・アスコルビン酸, すなわちビタミン C

- ンC ; その塩 [2]
- 31/38 ・ ・ 環異種原子として硫黄をもつもの [2]
- 31/381 ・ ・ ・ 5 員環を持つもの : [7]
- 31/382 ・ ・ ・ 6 員環を持つもの , 例 . チオキサテン (チオチキセン A 6 1 K 3 1 / 4 9 6) [7]
- 31/385 ・ ・ ・ 同一環中に 2 個以上の硫黄原子をもつもの [2]
- 31/39 ・ ・ ・ 同一環中に酸素をもつもの [2]
- 31/395 ・ ・ 環異種原子として窒素を持つもの , 例 . グアネチジンまたはリファマイシン [2 0 0 6 . 0 1]
- 31/396 ・ ・ ・ 3 員環を持つもの , 例 . アジリジン [7]
- 31/397 ・ ・ ・ 4 員環を持つもの , 例 . アゼチジン [7]
- 31/40 ・ ・ ・ 環異種原子として 1 個の窒素をもつ 5 員環を有するもの , 例 . スルピリド , スクシンイミド , トルメチン , プフロメシル [2]
- 31/401 ・ ・ ・ ・ プロリン ; その誘導体 , 例 . カプトプリル [7]
- 31/4015 ・ ・ ・ ・ 複素環に直接結合したオキシ基を持つもの , 例 . ピラセタム , エトスクシミド [7]
- 31/402 ・ ・ ・ ・ 1 - アリール置換されたもの , 例 . ビレタニド [7]
- 31/4025 ・ ・ ・ ・ 縮合することなく , さらに複素環を含有する化合物 , 例 . クロマカリム [7]
- 31/403 ・ ・ ・ ・ 炭素環と縮合したもの , 例 . カルバゾール [7]
- 31/4035 ・ ・ ・ ・ ・ イソインドール , 例 . フタルイミド [7]
- 31/404 ・ ・ ・ ・ ・ インドール , 例 . ビンドロール [7]
- 31/4045 ・ ・ ・ ・ ・ インドール - アルキルアミン及びそのアミド , 例 . セロトニン , メラトニン [7]
- 31/405 ・ ・ ・ ・ ・ インドールアルカンカルボン酸 ; その誘導体 , 例 . トリプトファン , インドメタシン [2]
- 31/407 ・ ・ ・ ・ 他の複素環系と縮合したもの , 例 . ケトロラック , フィソスチグミン [7]
- 31/409 ・ ・ ・ ・ 4 個の当該環を持つもの , 例 . ポルフィリン誘導体 , ビリルビン , ビリベルデン (ヘミン , ヘマチン A 6 1 K 3 1 / 5 5 5) [7]
- 31/41 ・ ・ ・ 2 個以上の環異種原子を有し , そのうち少なくとも 1 個は窒素である 5 員環をもつもの , 例 . テトラゾール [2]
- 31/415 ・ ・ ・ ・ 1 , 2 - ジアゾール [2 , 7]
- 31/4152 ・ ・ ・ ・ ・ 複素環に直接結合したオキシ基を持つもの , 例 . アンチピリン , フェニルブタゾン , スルフィンピラゾン [7]
- 31/4155 ・ ・ ・ ・ ・ 縮合することなく , さらに複素環を含むもの [7]
- 31/416 ・ ・ ・ ・ ・ 炭素環と縮合したもの , 例 . インダゾール [7]
- 31/4162 ・ ・ ・ ・ ・ 他の複素環系と縮合したもの [7]
- 31/4164 ・ ・ ・ ・ 1 , 3 - ジアゾール , 例 . イミダゾール [7]
- 31/4166 ・ ・ ・ ・ ・ 直接結合したオキシ基を持つもの , 例 . フェニトイン [7]
- 31/4168 ・ ・ ・ ・ ・ 2 位に結合した窒素を持つもの , 例 : クロニジン [7]
- 31/417 ・ ・ ・ ・ ・ イミダゾール - アルキルアミン , 例 . ヒスタミン , フェントラミン [7]
- 31/4172 ・ ・ ・ ・ ・ イミダゾール - アルカンカルボン酸 , 例 . ヒスチジン [7]
- 31/4174 ・ ・ ・ ・ ・ アリールアルキルイミダゾール , 例 . オキシメタゾリン , ナファゾリン , ミコナゾール [7]
- 31/4178 ・ ・ ・ ・ ・ 縮合することなく , さらに複素環を含有するもの , 例 . ピロカルピン , ニトロフランチン [7]
- 31/4184 ・ ・ ・ ・ ・ 炭素環と縮合したもの , 例 . ベンズイミダゾール [7]
- 31/4188 ・ ・ ・ ・ ・ 他の複素環系と縮合したもの , 例 . ピオチン , ソルピニル [7]
- 31/4192 ・ ・ ・ ・ 1 , 2 , 3 - トリアゾール [7]
- 31/4196 ・ ・ ・ ・ 1 , 2 , 4 - トリアゾール [7]
- 31/42 ・ ・ ・ ・ オキサゾール [2 , 7]
- 31/421 ・ ・ ・ ・ ・ 1 , 3 - オキサゾール , 例 . ペモリン , トリメタジオン [7]
- 31/422 ・ ・ ・ ・ ・ 縮合することなく , さらに複素環を含むもの [7]
- 31/423 ・ ・ ・ ・ ・ 炭素環と縮合したもの [7]
- 31/424 ・ ・ ・ ・ ・ 他の複素環系と縮合したもの , 例 . クラプラン酸 [7]
- 31/4245 ・ ・ ・ ・ オキサジアゾール [7]
- 31/425 ・ ・ ・ ・ チアゾール [2 , 7]
- 31/426 ・ ・ ・ ・ ・ 1 , 3 - チアゾール [7]
- 31/427 ・ ・ ・ ・ ・ 非縮合チアゾールを持ち , さらに複素環を含むもの [7]
- 31/428 ・ ・ ・ ・ ・ 炭素環と縮合したもの [7]
- 31/429 ・ ・ ・ ・ ・ 他の複素環系と縮合したもの [7]
- 31/43 ・ ・ ・ ・ ・ 4 - チア - 1 - アザピシクロ [3 , 2 , 0] ヘプタン環系を含有する化合物 , すなわち , 式  の環系を含有する化合物 , 例 . ペニシリン誘導体 , ペネム誘導体 [2 , 6]
- 31/431 ・ ・ ・ ・ ・ さらに複素環系を含有するもの , 例 . チカルシリン , アズロシリン ,

- オキサシリン [7]
- 31/433 ・・・・チアジアゾール [7]
- 31/435 ・・・・環異種原子として 1 個の窒素のみを有する 6 員環を持つもの, 例 . 炭素環系と縮合したもの (キノリン A 6 1 K 3 1 / 4 7) [2]
- 31/4353 ・・・・複素環とオルトまたはペリ縮合したもの [7]
- 31/4355 ・・・・環異種原子として酸素を持つ 5 員環を含む複素環系と縮合したもの [7]
- 31/436 ・・・・環異種原子として酸素を持つ 6 員環を含む複素環系と縮合したもの, 例 . ラパマイシン [7]
- 31/4365 ・・・・環異種原子として硫黄を持つ複素環系と縮合したもの, 例 . チクロジピン [7]
- 31/437 ・・・・環異種原子として窒素を持つ 5 員環を含む複素環系と縮合したもの, 例 . インドリジン, - カルボリン [7]
- 31/4375 ・・・・環異種原子として窒素を持つ 6 員環を含む複素環系と縮合したもの, 例 . キノリジン, ナフチリジン, ピンカミン [7]
- 31/438 ・・・・環が炭素環系又は複素環系とスピロ縮合しているもの [7]
- 31/439 ・・・・環が架橋環系の部分を構成しているもの, 例 . キヌクリジン (8 - アザ - ビシクロ [3 . 2 . 1] オクタン A 6 1 K 3 1 / 4 6) [7]
- 31/44 ・・・・非縮合ピリジン; その水素添加誘導体 [2 , 7]
- 31/4402 ・・・・2 位のみ置換されたもの, 例 . フェニラミン, ビサコジル [7]
- 31/4406 ・・・・3 位のみ置換されたもの, 例 . ジメルシン (ニコチン酸 A 6 1 K 3 1 / 4 5 5) [7]
- 31/4409 ・・・・4 位のみ置換されたもの, 例 . イソニアジド, イプロニアジド [7]
- 31/4412 ・・・・複素環に直接結合したオキソ基を持つもの [7]
- 31/4415 ・・・・ピリドキシン, すなわちビタミン B₆ (リン酸ピリドキサル A 6 1 K 3 1 / 6 7 5) [7]
- 31/4418 ・・・・複素環に直接結合した炭素環を持つもの, 例 . シプロヘプタジン [7]
- 31/4422 ・・・・1 , 4 - ジヒドロピリジン, 例 . ニフエジピン, ニカルジピン [7]
- 31/4425 ・・・・ピリジニウム誘導体, 例 . プラリドキシム, ピリドスチグミン [7]
- 31/4427 ・・・・さらに複素環系を含有するもの [7]
- 31/443 ・・・・環異種原子として酸素を有する 5 員環を含むもの [7]
- 31/4433 ・・・・環異種原子として酸素を有する 6 員環を含むもの [7]
- 31/4436 ・・・・環異種原子として硫黄を有する複素環を含むもの [7]
- 31/4439 ・・・・環異種原子として窒素を有する 5 員環を含むもの, 例 . オメブラゾール (ニコチン A 6 1 K 3 1 / 4 6 5) [2 0 0 6 . 0 1]
- 31/444 ・・・・環異種原子として窒素を有する 6 員環を含むもの, 例 . アムリノン [7]
- 31/445 ・・・・非縮合ピペリジン, 例 . ピペロカイン [2 , 7]
- 31/4453 ・・・・1 位のみ置換されたもの, 例 . プロピボカイン, ジペロドン [7]
- 31/4458 ・・・・2 位のみ置換されたもの, 例 . メチルフェニデート [7]
- 31/4462 ・・・・3 位のみ置換されたもの [7]
- 31/4465 ・・・・4 位のみ置換されたもの [7]
- 31/4468 ・・・・4 位に直接結合した窒素を持つもの, 例 . クレボプリド, フェンタニル [7]
- 31/45 ・・・・複素環に直接結合したオキソ基を持つもの, 例 . シクロヘキシミド (グルテチミド A 6 1 K 3 1 / 4 5 1) [2 , 7]
- 31/451 ・・・・複素環に直接結合した炭素環基を持つもの, 例 . グルテチミド, メペリジン, ロペラミド, フェンシクリジン, ピミノジン [7]
- 31/4515 ・・・・1 位にブチロフェノン基を持つもの, 例 . ハロペリドール (ピバンペロン A 6 1 K 3 1 / 4 5 4 5) [7]
- 31/452 ・・・・ピペリジニウム誘導体 (パンクロニウム A 6 1 K 3 1 / 5 8) [7]
- 31/4523 ・・・・さらに複素環系を含有するもの [7]
- 31/4525 ・・・・環異種原子として酸素を有する 5 員環を含むもの [7]
- 31/453 ・・・・環異種原子として酸素を有する 6 員環を含むもの [7]
- 31/4535 ・・・・環異種原子として硫黄を有する複素環を含むもの, 例 . ピゾチフェン [7]
- 31/454 ・・・・環異種原子として窒素を有する 5 員環を含むもの, 例 . ピモジド, ドンペリドン [7]
- 31/4545 ・・・・環異種原子として窒素を有する 6 員環を含むもの, 例 . ピバンペロン, アナバシン [7]
- 31/455 ・・・・ニコチン酸, 例 . ナイアシン; その誘導体, 例 . エステル, アミド [2]
- 31/46 ・・・・8 - アザビシクロ [3 . 2 . 1] オクタン; その誘導体, 例 . アトロピン,

- コカイン [2]
- 31/465 ・・・・ニコチン；その誘導体 [2]
- 31/47 ・・・・キノリン；イソキノリン [2]
- 31/4704 ・・・・2 - キノリノン，例．カルボスチリル [7]
- 31/4706 ・・・・4 - アミノキノリン；8 - アミノキノリン，例．クロロキン，プリマキン [7]
- 31/4709 ・・・・縮合することなく，さらに複素環を含むキノリン [7]
- 31/472 ・・・・非縮合イソキノリン，例．パバペリン [7]
- 31/4725 ・・・・さらに複素環を含むもの [7]
- 31/473 ・・・・炭素環系とオルソ又はペリ縮合したもの，例．アクリジン，フェナントリジン [7]
- 31/4738 ・・・・複素環系とオルソ又はペリ縮合したもの [7]
- 31/4741 ・・・・環異種原子として酸素を持つ環系で縮合したもの，例．ツボクラリン誘導体，ノスカピン，ビククリン [7]
- 31/4743 ・・・・環異種原子として硫黄を持つ環系で縮合したもの [7]
- 31/4745 ・・・・環異種原子として窒素を持つ環系で縮合したもの，例．フェナントロリン（ヨヒンビン誘導体，ピンブラスチン A 6 1 K 3 1 / 4 7 5；エルゴリン誘導体 A 6 1 K 3 1 / 4 8) [2 0 0 6 . 0 1]
- 31/4747 ・・・・スピロ縮合したもの [7]
- 31/4748 ・・・・架橋環系の部分を構成するもの（ストリキニン A 6 1 K 3 1 / 4 7 5；モルフィナン誘導体 A 6 1 K 3 1 / 4 8 5) [2 0 0 6 . 0 1]
- 31/475 ・・・・インドール環を持つもの，例．ヨヒンビン，レセルピン，ストリキニン，ピンブラスチン（ピンカミン A 6 1 K 3 1 / 4 3 7 5) [2 , 7]
- 31/48 ・・・・エルゴリン誘導体，例．リセルグ酸，エルゴタミン [2 , 7]
- 31/485 ・・・・モルフィナン誘導体，例．モルフィン，コデイン [2 , 7]
- 31/49 ・・・・シンコナン誘導体，例．キニン [2 , 7]
- 31/495 ・・・・環異種原子として2個の窒素のみを有する6員環を持つもの，例．ピペラジン（A 6 1 K 3 1 / 4 8 が優先） [2]
- 31/496 ・・・・非縮合ピペラジンをもち，さらに複素環を含む化合物，例．リファンピン，チオチキセン，スパルフロキサシン [2 0 0 6 . 0 1]
- 31/4965 ・・・・非縮合ピラジン [7]
- 31/497 ・・・・さらに複素環を含む非縮合ピラジン [7]
- 31/498 ・・・・炭素環系とオルト又はペリ縮合したピラジン又はピペラジン，例．キノキサリン，フェナジン [7]
- 31/4985 ・・・・複素環系とオルト又はペリ縮合したピラジン又はピペラジン [7]
- 31/499 ・・・・スピロ縮合したピラジンまたはピペラジン [7]
- 31/4995 ・・・・架橋環系の部分を構成するピラジンまたはピペラジン [7]
- 31/50 ・・・・ピリダジン；水素添加ピリダジン [2 , 7]
- 31/501 ・・・・縮合することなく，さらに複素環を含むもの [7]
- 31/502 ・・・・炭素環系とオルソ又はペリ縮合したもの，例．シンノリン，フタラジン [7]
- 31/5025 ・・・・複素環系とオルソ又はペリ縮合したもの [7]
- 31/503 ・・・・スピロ縮合したもの [7]
- 31/504 ・・・・架橋環系の部分を構成するもの [7]
- 31/505 ・・・・ピリミジン；水素添加ピリミジン，例．トリメトプリム [2 , 7]
- 31/506 ・・・・縮合することなく，さらに複素環を含有するもの [7]
- 31/51 ・・・・チアミン，例．ビタミン B₁ [2]
- 31/513 ・・・・複素環に直接結合したオキソ基を持つもの，例．シトシン [7]
- 31/515 ・・・・バルビツール酸；その誘導体，例．ペントバルビタールナトリウム [2]
- 31/517 ・・・・炭素環系とオルソ又はペリ縮合したもの，例．キナゾリン，ペリミジン [7]
- 31/519 ・・・・複素環系とオルソまたはペリ縮合したもの [7]
- 31/52 ・・・・プリン，例．アデニン [2 , 7]
- 31/522 ・・・・複素環に直接結合したオキソ基を持つもの，例．ヒポキサンチン，グアニン，アシクロビル [7]
- 31/525 ・・・・イソアロキサジン，例．リボフラビン，ビタミン B₂ [2]
- 31/527 ・・・・スピロ縮合したもの [7]
- 31/529 ・・・・架橋環系の部分を構成するもの [7]
- 31/53 ・・・・環異種原子として3個の窒素のみを有する6員環を持つもの，例．クロラザニル，メラミン（メラルソプロール A 6 1 K 3 1 / 5 5 5) [2]
- 31/535 ・・・・環異種原子として少なくとも1個の窒素及び1個の酸素を有する6員環を持つもの

- 31/5355 つもの, 例. 1, 2 - オキサジン [2]
 ・・・・縮合することなく, さらに複素環を含有するオキサジン [7]
- 31/536 ・・・・炭素環系とオルソ又はペリ縮合したもの [7]
- 31/5365 ・・・・複素環系とオルソ又はペリ縮合したもの [7]
- 31/537 ・・・・スピロ縮合または架橋環系の部分を構成するもの [7]
- 31/5375 ・・・・1, 4 - オキサジン, 例. モルホリン [7]
- 31/5377 ・・・・縮合することなく, さらに複素環を含有するもの, 例. チモロール [7]
- 31/538 ・・・・炭素環系とオルソ又はペリ縮合したもの [7]
- 31/5383 ・・・・複素環系とオルソ又はペリ縮合したもの [7]
- 31/5386 ・・・・スピロ縮合又は架橋環系の部分を構成するもの [7]
- 31/539 ・・・・同一環に2個以上の酸素原子を持つもの, 例. ジオキサジン [7]
- 31/5395 ・・・・同一環に2個以上の窒素原子を持つもの [7]
- 31/54 ・・・・環異種原子として少なくとも1個の窒素及び1個の硫黄を有する6員環を持つもの, 例. スルチアム [2]
- 31/541 ・・・・非縮合チアジンをもち, さらに複素環を含有する化合物 [7]
- 31/5415 ・・・・炭素環系とオルソ又はペリ縮合したもの, 例. フェノチアジン, クロルプロマジン, ピロキシカム [2 0 0 6 . 0 1]
- 31/542 ・・・・複素環系とオルソ又はペリ縮合したもの [7]
- 31/545 ・・・・5 - チア - 1 - アザビシクロ [4 . 2 . 0] オクタン環系を含有する化合物

 , 例. セファロsporin, セファクロル, セファレキシン [2 , 6]
- 31/546 ・・・・さらに複素環を含むもの, 例. セファロチン [7]
- 31/547 ・・・・スピロ縮合または架橋環系の部分を構成するもの [7]
- 31/548 ・・・・同一環に2個以上の硫黄原子を持つもの [7]
- 31/549 ・・・・同一環に2個以上の窒素原子を持つもの [7]
- 31/55 ・・・・7員環を持つもの, 例. アゼラスチン, ペンチレンテトラゾール [2]
- 31/551 ・・・・環異種原子として2個の窒素原子を持つもの, 例. クロザピン, ジラゼブ [7]
- 31/5513 ・・・・1, 4 - ベンゾジアセピン, 例. ジアセパム [7]
- 31/5517 ・・・・環異種原子として窒素を持つ5員環と縮合したもの, 例. イミダゾベンゾジアセピン, トリアゾラム [7]
- 31/553 ・・・・環異種原子として少なくとも1個の窒素及び1個の酸素を持つもの, 例. ロキサピン, スタウロスポリン [7]
- 31/554 ・・・・環異種原子として少なくとも1個の窒素及び1個の硫黄を持つもの, 例. クロチアピン, ジルチアゼム [2 0 0 6 . 0 1]
- 31/555 ・・・・重金属を含有するもの, 例. ヘミン, ヘマチン, メラルソプロール [2]
- 31/557 ・エイコサノイド, 例. ロイコトリエン [3 , 7]
- 31/5575 ・・・・シクロペンタン環をもつもの, 例. プロスタグランジン E 2, プロスタグランジン F 2 [7]
- 31/5578 ・・・・ペンタレン環を持つもの, 例. カルバサイクリン, イロプロスト [7]
- 31/558 ・・・・環異種原子として酸素のみを含む複素環をもつもの, 例. トロンボキサン [7]
- 31/5585 ・・・・環異種原子として酸素のみを含む5員環を持つもの, 例. プロスタサイクリン [7]
- 31/559 ・・・・酸素以外の環異種原子を含む複素環を持つもの [7]
- 31/56 ・シクロペンタ [a] ヒドロフェナントレン環系を含む化合物, 例. ステロイドまたはそれから誘導される化合物 [2 0 0 6 . 0 1]

注

注 [7]

“ステロイド”という用語に含まれるのは何かについて説明した, サブクラス C 0 7 J のタイトル後の注 (1) に注意すること。

- 31/565 ・・・・17 位が炭素原子によって置換されていないもの, 例. エストラン, エストラジオール [2]
- 31/566 ・・・・17 位にオキシ基を持つもの, 例. エストロン [7]
- 31/567 ・・・・17 位が置換されたもの, 例. メストラノール, ノルエタンドロロン [7]
- 31/568 ・・・・10, 13 位が少なくとも1個の炭素原子を有する炭素鎖によって置換されたもの, 例. アンドロスタン, 例. テストステロン [7]
- 31/5685 ・・・・17 位にオキシ基を持つもの, 例. アンドロステロン [7]
- 31/569 ・・・・17 位が置換されたもの, 例. エチステロン [7]
- 31/57 ・・・・17 位が2個の炭素原子を有する炭

	素鎖によって置換されたもの, 例. プレグナン, プロゲステロン [2 0 0 6 . 0 1]		31/66	・リン化合物 [2]
31/573	・ ・ ・ 2 1 位が置換されたもの, 例. コルチゾン, デキサメタゾン, プレドニゾン, アルドステロン [2 0 0 6 . 0 1]		31/661	・ ・ P - C 結合を持たないリン酸またはそのエステル, 例. ホスフォサル, ジクロロボス, マラチオン [7]
31/575	・ ・ 1 7 位が少なくとも 3 個の炭素原子を有する炭素鎖によって置換されたもの, 例. コラン, コレスタン, エルゴステロール, シトステロール [2]		31/6615	・ ・ ・ 2 またはそれ以上のエステル化されたリン酸基を持つ化合物, 例. イノシトールトリホスフェート, フィチン酸 [2 0 0 6 . 0 1]
31/58	・ ・ 複素環を含有するもの, 例. ダナゾール, スタノゾロール, パンクロニウム, シギトゲニン (ジギトキシン A 6 1 K 3 1 / 7 0 4) [2 0 0 6 . 0 1]		31/662	・ ・ P - C 結合をもつリン酸又はそのエステル, 例. ホスカルネット, トリクロルホン [7]
31/585	・ ・ ・ ラクトン環を含有するもの, 例. オキサンドロロン, プファリン [2]		31/663	・ ・ ・ 2 又はそれ以上のリン酸基又はそのエステル基を持つ化合物, 例. クロドロニ酸, パミドロニ酸 [7]
31/59	・ 9 , 1 0 - セコ - シクロペンタ [a] ヒドロ - フェナントレン環系を含有する化合物 [2]		31/664	・ ・ リン酸のアミド [7]
31/592	・ ・ 9 , 1 0 - セコエルゴスタン誘導体, 例. エルゴカルシフェロール, ビタミン D ₂ [7]		31/665	・ ・ 環構成異種原子として酸素を持つもの, 例. ホスホマイシン [2]
31/593	・ ・ 9 , 1 0 - セココレスタン誘導体, 例. コレカルシフェロール, すなわちビタミン D ₃ [2 0 0 6 . 0 1]		31/67	・ ・ 環構成異種原子として硫黄をもつもの [2]
31/60	・ サリチル酸; その誘導体 [2]		31/675	・ ・ 環構成異種原子として窒素を持つもの, 例. ビリドキサル リン酸塩 [2]
31/603	・ ・ さらに芳香族環を持つもの, 例. シフルニサル [7]		31/683	・ ・ 2 個のヒドロキシ化合物とリン酸とのジエステル, 例. ホスファチジルイノシトール [7]
31/606	・ ・ アミノ基を持つもの [7]		31/685	・ ・ ・ 一方のヒドロキシ化合物が窒素原子を持つもの, 例. ホスファチシルセリン, レシチン [2 , 7]
31/609	・ ・ アミド, 例. サリチルアミド [7]		31/688	・ ・ ・ 双方のヒドロキシ化合物が窒素原子を持つもの, 例. スフィンゴミエリン [7]
31/612	・ ・ 2 位にエステル化された水酸基を持つもの, 例. サリチル硫酸 (フォスフォサル A 6 1 K 3 1 / 6 6 1) [7]		31/69	・ ほう素化合物 [2]
31/616	・ ・ ・ カルボン酸によるもの, 例. アセチルサリチル酸 [7]		31/695	・ けい素化合物 [2]
31/618	・ ・ 1 位にエステル化されたカルボキシル基を持つもの, 例. サルサラート [7]		31/70	・ 炭水化物; 糖; その誘導体 (ソルビトール A 6 1 K 3 1 / 0 4 7) [2 , 7]
31/621	・ ・ ・ 2 位にもエステル化された水酸基を持つもの, 例. ベノリラート [7]		注	
31/625	・ ・ 複素環式置換基を持つもの, 例. 4 - サリチルオイルモルフォリン (スルファサラジン A 6 1 K 3 1 / 6 3 5) [2 , 7]		このグループにおいて使用される表現は, サブクラス C 0 7 H のタイトルに続く注 (3) に指示される意味で用いる。 [7]	
31/63	・ パラ - N - ベンゼンスルホニル - N - 基を含有する化合物, 例. スルファニルアミド, P - ニトロベンゼンスルフォノヒドラジド [2]		31/7004	・ ・ 炭素, 水素, 酸素原子のみを持つ単糖 [7]
31/635	・ ・ 複素環を有するもの, 例. スルファジアジン [2]		31/7008	・ ・ 糖類基に直接結合する 1 個のアミノ基を持つ化合物, 例. D - ガラクトサミン, ラニムスチン [7]
31/64	・ スルホニル尿素, 例. グリベンクラミド, トルブタミド, クロルプロパミド [2]		31/7012	・ ・ 糖類基に直接または炭素鎖を介して結合した, 遊離またはエステル化されたカルボキシル基を持つ化合物, 例. グルクロン酸, ノイラミン酸 (グルコン酸 A 6 1 K 3 1 / 1 9 1 , アスコルビン酸 A 6 1 K 3 1 / 3 7 5) [7]
31/65	・ テトラサイクリン [2]		31/7016	・ ・ 二糖類, 例. ラクトース, ラクチュロース (ラクトビオン酸 A 6 1 K 3 1 / 7 0 3 2) [7]
31/655	・ アゾ (- N = N -), ジアゾ (= N ₂), アゾキシ (- N (O) - N または N (=		31/702	・ ・ 少糖類, すなわちグリコシド結合によ

	り互いに結合した 3 ~ 5 個の糖類基を持つもの [7]		グアニン, シトシンまたはウラシルに結合したリボースのみを含み, 3' - 5' ホスホジエステル結合を持つもの [7]
31/7024	・糖類のエステル [7]		
31/7028	・グリコシド結合により, 糖類でない化合物と結合した糖類基を持つ化合物 [7]	31/711	・天然のデオキシリボ核酸, すなわちアデニン, グアニン, シトシン又はチミンに結合した 2' - デオキシリボースのみを含み, 3' - 5' ホスホジエステル結合を持つもの [7]
31/7032	・ポリオール, すなわち, 2 個以上の遊離またはエステル化された水酸基 (グリコシド結合に含まれる水酸基を含む) をもつ化合物に結合したものの例: モノグルコシル ジアシルグリセリド, ラクトビオン酸, ガングリオシド [7]	31/7115	・修飾塩基, すなわちアデニン, グアニン, シトシン, ウラシル又はチミン以外, を持つ核酸又はオリゴヌクレオチド [7]
31/7034	・炭素環と結合したものの例: フロリジン [7]	31/712	・修飾された糖, すなわちリボースまたは 2' - デオキシリボース以外, を持つ核酸又はオリゴヌクレオチド [7]
31/7036	・炭素環に直接結合した少なくとも 1 個のアミノ基を持つものの例: ストレプトマイシン, ゲンタマイシン, アミカシン, バリダマイシン, フオルチマイシン [7]	31/7125	・修飾されたヌクレオシド間の結合, すなわち 3' - 5' ホスホジエステル結合以外の結合を持つ核酸又はオリゴヌクレオチド [7]
31/704	・縮合炭素環系に結合したものの例: センノシド, チオコルチコシド, エスシン, ダウノルピシン, ジギトキシン [7]	31/713	・2 本鎖の核酸またはオリゴヌクレオチド [7]
31/7042	・糖類基と複素環とを持つ化合物 [7]	31/7135	・重金属を含む化合物 [7]
31/7048	・環構成異種原子として酸素原子を持つものの例: ロイコグルコサン, ヘスペリジン, エリスロマイシン, ナイスタチン [7]	31/714	・コバラミン, 例: シアノコバラミン, ビタミン B ₁₂ [7]
31/7052	・環構成異種原子として窒素を持つものの例: ヌクレオシド, ヌクレオチド [7]	31/715	・多糖類, すなわちグリコシド結合により互いに結合された 6 個以上の糖類基を持つもの, 及びその誘導体, 例: エーテル, エステル [2 0 0 6 . 0 1]
31/7056	・環構成異種原子として窒素を含む 5 員環を含むもの [7]	31/716	・グルカン [7]
31/706	・環構成異種原子として窒素を含む 6 員環を含むもの [7]	31/717	・セルロース [7]
31/7064	・縮合または非縮合のピリミシンを含むもの [7]	31/718	・澱粉及び澱粉加水分解物, 例: アミロース, アミロペクチン [7]
31/7068	・ピリミジン環に直接結合したオキソ基を含むもの, 例: シチジン, シチジル酸 [7]	31/719	・ブルラン [7]
31/7072	・ピリミジン環に直接結合した 2 個のオキソ基を持つもの, 例: ウリジン, ウリジル酸, チミジン, ジドブジン [7]	31/721	・デキストラン [7]
31/7076	・プリンを含むもの, 例: アデノシン, アデニル酸 [7]	31/722	・キチン, キトサン [7]
31/708	・プリン環に直接結合したオキソ基を持つもの, 例: グアノシン, グアニル酸 [7]	31/723	・キシタン [7]
31/7084	・2 個のヌクレオシドまたはヌクレオチドを持つ化合物, 例: ニコチンアミド, アデニンジヌクレオチド, フラビン アデニンジヌクレオチド [7]	31/724	・シクロデキストリン [7]
31/7088	・3 個以上のヌクレオシドまたはヌクレオチドを持つ化合物 [7]	31/726	・グリコサミノグリカン, すなわちムコ多糖 (コンドロイチン硫酸, デルマトン硫酸 A 6 1 K 3 1 / 7 3 7) [7]
31/7105	・天然のリボ核酸, すなわちアデニン,	31/727	・ヘパリン; ヘパラン [2 0 0 6 . 0 1]
		31/728	・ヒアルロン酸 [7]
		31/729	・寒天; アガロース; アガロペクチン [7]
		31/731	・カラギーナン [7]
		31/732	・ペクチン [7]
		31/733	・フルクトサン, 例: イヌリン [7]
		31/734	・アルギン酸 [7]
		31/736	・グルコマンナンまたはガラクトマンナン, 例: ローカストビーンガム, グアーガム [7]
		31/737	・硫酸化多糖, 例: コンドロイチン硫

	酸，デルマトン硫酸（A 6 1 K 3 1 / 7 2 7 が優先）[7]
31/738	・ ・ ・ 交差結合多糖 [7]
31/739	・ ・ ・ リボ多糖 [7]
31/74	・ 合成の重合材料 [2]
31/745	・ ・ 炭化水素の重合体 [2]
31/75	・ ・ ・ エテンの重合体 [2]
31/755	・ ・ ハロゲンを含む重合体 [2]
31/76	・ ・ ・ 塩化ビニルの重合体 [2]
31/765	・ ・ 酸素を含む重合体 [2]
31/77	・ ・ ・ オキシランの重合体 [2]
31/775	・ ・ ・ フェノール樹脂 [2]
31/78	・ ・ ・ アクリル酸またはその誘導体の重合体 [2]
31/785	・ ・ 窒素を含む重合体 [2]
31/787	・ ・ ・ 環構成異種原子として窒素を持つ複素環を含むもの [7]
31/79	・ ・ ・ ・ ビニルピロリドンの重合体 [2]
31/795	・ ・ 硫黄を含む重合体 [2]
31/80	・ ・ グループ A 6 1 K 3 1 / 7 5 5 ~ A 6 1 K 3 1 / 7 9 5 に属さないヘテロ原子を含む重合体 [2]
33/00	無機活性成分を含む医薬品製剤 [2 0 0 6 . 0 1]
33/02	・ アンモニア；その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/04	・ 硫黄，セレンまたはテルル，それらの化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/06	・ アルミニウム，カルシウムまたはマグネシウム；それらの化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/08	・ ・ 酸化物；水酸化物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/10	・ ・ 炭酸塩；重炭酸塩 [2 0 0 6 . 0 1]
33/12	・ ・ けい酸マグネシウム [2 0 0 6 . 0 1]
33/14	・ アルカリ金属の塩化物；アルカリ土類金属の塩化物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/16	・ ふっ素化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/18	・ 沃素；その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/20	・ 塩素；塩素を放出する無機化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/22	・ ほう素化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/24	・ 重金属；その化合物 [2 0 1 9 . 0 1]
33/241	・ ・ 鉛；その化合物 [2 0 1 9 . 0 1]
33/242	・ ・ 金；その化合物 [2 0 1 9 . 0 1]
33/243	・ ・ 白金；その化合物 [2 0 1 9 . 0 1]
33/244	・ ・ ランタニド；その化合物（生体内での治療または検査に用いる放射性ランタニドを含む医薬品製剤 A 6 1 K 5 1 / 0 0 ）[2 0 1 9 . 0 1]
33/245	・ ・ ビスマス；その化合物 [2 0 1 9 . 0 1]
33/26	・ ・ 鉄；その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/28	・ ・ 水銀；その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]

33/30	・ ・ 亜鉛；その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/32	・ ・ マンガン；その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/34	・ ・ 銅；その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/36	・ ・ ひ素；その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/38	・ ・ 銀；その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/40	・ 過酸化物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/42	・ りん；その化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
33/44	・ 炭素，例．木炭，カーボンブラック [2 0 0 6 . 0 1]
35/00	構造未知の物質またはその反応生成物を含む医薬品製剤 [2]

注

（１）このグループでは，各活性成分または物質について分類する。各活性成分または物質は，最後の適切な箇所に分類される。[2 0 1 5 . 0 1]

（２）このグループに分類するとき，クロマトグラフィーに関する一般分野の主題事項が関係している限り，グループ B 0 1 D 1 5 / 0 8 にも分類する。[8]

35/02	・ 無生物体からのもの（炭素 A 6 1 K 3 3 / 4 4 ）[2 , 2 0 1 5 . 0 1]
35/04	・ ・ タール；ピチューメン；鉱油；ピチューミノスルホン酸アンモニウム [2]
35/06	・ ・ ・ 鉱油，例．パラフィン油または芳香族炭化水素に基づく芳香族油 [2]
35/08	・ ・ 鉱泉；海水 [2 , 2 0 1 5 . 0 1]
35/10	・ ・ 泥炭；琥珀；泥炭塊；腐植土 [2 , 2 0 1 5 . 0 1]
35/12	・ 哺乳動物からの物質；特定されていない組織または細胞からなる組成物；非胚性幹細胞からなる組成物；遺伝子的に修飾された細胞（ワクチンまたは抗原または抗体を含む医薬品製剤 A 6 1 K 3 9 / 0 0 ）[2 0 1 5 . 0 1]

注

細胞が特徴づけられている場合，対応する組織または由来する組織を包含するグループに分類される。[2 0 1 5 . 0 1]

35/13	・ ・ 由来する組織を問わない腫瘍細胞（腫瘍ワクチン A 6 1 K 3 9 / 0 0 ）[2 0 1 5 . 0 1]
35/14	・ ・ 血液；人工血液（パーフルオロカーボン A 6 1 K 3 1 / 0 2 ；臍帯血 A 6 1 K 3 5 / 5 1 ；ヘモグロビン A 6 1 K 3 8 / 4 2 ）[2 , 2 0 1 5 . 0 1]
35/15	・ ・ ・ 骨髄性細胞，例．顆粒球，好塩基球，好酸球，好中球，白血球，単球，マクロファージまたはマスト細胞；骨髄前駆細胞；抗原提示細胞，例．樹状細胞（治療のための抗体またはそのフラグメントと血液由来細胞の組み合わせ A 6 1 K 3 9 / 0 0 ；細胞免疫療法 A 6 1 K 4 0 / 0 0 ）[2 0 2 5 . 0 1]
35/16	・ ・ ・ 血漿；血清（臍帯血 A 6 1 K 3 5 /

	5 1) [2 , 2 0 1 5 . 0 1]	35/44	・管；血管平滑筋細胞；内皮細胞；内皮前駆細胞 [2 , 2 0 1 5 . 0 1]
35/17	・リンパ球；B細胞；T細胞；ナチュラルキラー細胞；インターフェロン活性化またはサイトカイン活性化リンパ球（細胞免疫療法 A 6 1 K 4 0 / 0 0 ） [2 0 2 5 . 0 1]	35/48	・生殖器 [2 , 2 0 1 5 . 0 1]
35/18	・赤血球（ヘモグロビン A 6 1 K 3 8 / 4 2 ） [2 , 2 0 1 5 . 0 1]	35/50	・胎盤；胎盤幹細胞；羊水；羊膜；羊膜幹細胞 [2 , 2 0 1 5 . 0 1]
35/19	・血小板；巨核球 [2 0 1 5 . 0 1]	35/51	・臍帯；臍帯血；臍帯幹細胞 [2 0 1 5 . 0 1]
35/20	・乳；ホエイ；初乳 [2]	35/52	・精子；前立腺；精液；精巣のライディッシュ細胞 [2 , 2 0 1 5 . 0 1]
35/22	・尿；尿路，例．腎臓または膀胱；糸球体内メサンギウム細胞；腎間葉細胞；副腎 [2 , 2 0 1 5 . 0 1]	35/54	・卵巣；卵子；未受精卵；胚；胎児細胞；生殖細胞 [2 , 2 0 1 5 . 0 1]
35/24	・粘液；粘液腺；滑液のう；滑液；関節液；腺分泌；脊髄液（唾液 A 6 1 K 3 5 / 3 8 ） [2 , 2 0 1 5 . 0 1]	35/545	・胚性幹細胞；多能性幹細胞；人工多能性幹細胞，すなわち，i P S 細胞；特徴づけられていない幹細胞 [2 0 1 5 . 0 1]
35/26	・リンパ；リンパ節；胸腺；脾臓；脾臓細胞；胸腺細胞 [2 , 2 0 1 5 . 0 1]	35/55	・グループ A 6 1 K 3 5 / 2 2 ~ A 6 1 K 3 5 / 5 4 5 に分類されない腺，例．甲状腺，副甲状腺または松果腺 [3 , 2 0 1 5 . 0 1]
35/28	・骨髓；造血幹細胞；由来を問わない間葉系幹細胞，例．脂肪由来幹細胞 [2 , 2 0 1 5 . 0 1]	35/56	・哺乳動物以外の動物からの物質 [2 , 2 0 1 5 . 0 1]
35/30	・神経；脳；眼；角膜細胞；脳脊髄液；神経幹細胞；神経前駆細胞；グリア細胞；オリゴデンドロサイト細胞；シュワン細胞；星状膠細胞；星状細胞；脈絡集網；脊髄組織 [2 , 2 0 1 5 . 0 1]	35/57	・鳥類；鳥類からの物質，例．卵，羽毛，卵白，卵黄または鶏内金 [2 0 1 5 . 0 1]
35/32	・骨；骨細胞；骨芽細胞；腱；腱細胞；歯；象牙芽細胞；軟骨；軟骨細胞；滑膜 [2 , 2 0 1 5 . 0 1]	35/58	・爬虫類（蛇からの抗原 A 6 1 K 3 9 / 3 8 ） [2 , 2 0 1 5 . 0 1]
35/33	・線維芽細胞 [2 0 1 5 . 0 1]	35/583	・蛇；トカゲ，例．カメレオン（蛇毒蛋白質の治療への使用 A 6 1 K 3 8 / 0 0 ） [2 0 1 5 . 0 1]
35/34	・筋肉；平滑筋細胞；心臓；心筋幹細胞；筋芽細胞；筋細胞；心筋細胞（血管平滑筋 A 6 1 K 3 5 / 4 4 ） [2 , 2 0 1 5 . 0 1]	35/586	・ウミガメ；陸ガメ，例．キスイガメ [2 0 1 5 . 0 1]
35/35	・脂肪組織；脂肪細胞；間質細胞；結合組織（脂肪由来幹細胞 A 6 1 K 3 5 / 2 8 ；コラーゲン A 6 1 K 3 8 / 3 9 ） [2 0 1 5 . 0 1]	35/60	・魚類，例．タツノオトシゴ；魚卵 [2]
35/36	・皮膚；頭髮；爪；皮脂腺；耳垢；表皮；上皮細胞；ケラチノサイト；ランゲルハンス細胞；外胚葉細胞（ランゲルハンス島 A 6 1 K 3 5 / 3 9 ） [4 , 2 0 1 5 . 0 1]	35/612	・甲殻類，例．カニ，ロブスター，エビ，オキアミまたはザリガニ；フジツボ [2 0 1 5 . 0 1]
35/37	・消化器官 [3 , 2 0 1 5 . 0 1]	35/614	・刺胞動物，例．イソギンチャク，サンゴ，サンゴ虫またはクラゲ [2 0 1 5 . 0 1]
35/38	・胃；腸；杯状細胞；口腔粘膜；唾液 [3 , 2 0 1 5 . 0 1]	35/616	・棘皮動物，例．ヒトデ，ナマコまたはウニ [2 0 1 5 . 0 1]
35/39	・脾臓；ランゲルハンス島（上皮のランゲルハンス細胞 A 6 1 K 3 5 / 3 6 ） [3 , 2 0 1 5 . 0 1]	35/618	・軟体動物，例．淡水軟体動物，カキ，二枚貝，イカ，タコ，コウイカ，巻き貝またはナメクジ [2 0 1 5 . 0 1]
35/407	・肝臓；肝細胞 [3 , 2 0 1 5 . 0 1]	35/62	・ひる；蠕虫，例．条虫綱，サナダムシ，線虫，回虫，ミミズ，回虫類，フィラリア，鉤虫，旋毛虫または条虫類 [2]
35/413	・胆嚢；胆汁 [3 , 2 0 1 5 . 0 1]	35/63	・節足動物（水棲甲殻類 A 6 1 K 3 5 / 6 1 2 ） [2 0 1 5 . 0 1]
35/42	・呼吸器官，例．肺，気管支または肺細胞 [2 , 2 0 1 5 . 0 1]	35/64	・昆虫，例．蜂，スズメバチまたはノミ [2 , 2 0 1 5 . 0 1]
		35/644	・みつろう；プロポリス；ロイヤルゼリー；はちみつ [2 0 1 5 . 0 1]
		35/646	・クモ形類動物，例．クモ，サソリ，

A 6 1 K

- 大型ダニまたは小型ダニ [2 0 1 5 . 0 1]
- 35/648 ・ ・ ・ 多足類, 例 . ムカデまたはヤスデ [2 0 1 5 . 0 1]
- 35/65 ・ ・ ・ 両生類, 例 . ヒキガエル, カエル, サンショウオオまたはイモリ [2 0 1 5 . 0 1]
- 35/655 ・ ・ ・ グループ A 6 1 K 3 5 / 5 7 ~ A 6 1 K 3 5 / 6 5 に分類されない水棲生物 [2 0 1 5 . 0 1]
- 35/66 ・ 微生物または微生物からの物質 (菌類, 酵母またはカンジダ菌 A 6 1 K 3 6 / 0 6) [2 , 2 0 1 5 . 0 1]
- 35/68 ・ ・ 原生動物, 例 . 鞭毛虫, アメーバ, 孢子虫, プラズモジウムまたはトキソプラズマ [2]
- 35/74 ・ ・ バクテリア (バクテリア蛋白質の治療への使用 A 6 1 K 3 8 / 0 0) [2 , 2 0 1 5 . 0 1]
- 35/741 ・ ・ ・ 腸内有益菌 (腸内酵母, 例 . サッカロミセス A 6 1 K 3 6 / 0 6) [2 0 1 5 . 0 1]
- 35/742 ・ ・ ・ 芽胞形成菌, 例 . パチラスコアグランス, 枯草菌, クロストリジウム属または有孢子性乳酸菌 [2 0 1 5 . 0 1]
- 35/744 ・ ・ ・ 乳酸菌, 例 . エンテロコッカス属, ペディオコッカス属, ラクトコッカス属, 連鎖球菌またはリューコノストック属 [2 0 1 5 . 0 1]
- 35/745 ・ ・ ・ ・ ビフィドバクテリウム属 [2 0 1 5 . 0 1]
- 35/747 ・ ・ ・ ・ ラクトバシラス属, 例 . アシドフィルス菌またはブレビス菌 [2 0 1 5 . 0 1]
- 35/748 ・ ・ ・ シアノバクテリア, すなわち藍藻細菌または藍藻類, 例 . スピルリナ (藻類, 微細藻類または微細植物 A 6 1 K 3 6 / 0 2) [2 0 1 5 . 0 1]
- 35/76 ・ ・ ウイルス; サブウイルス粒子; バクテリオファージ [2 , 2 0 1 5 . 0 1]
- 35/761 ・ ・ ・ アデノウイルス [2 0 1 5 . 0 1]
- 35/763 ・ ・ ・ ヘルペスウイルス [2 0 1 5 . 0 1]
- 35/765 ・ ・ ・ レオウイルス; ロタウイルス [2 0 1 5 . 0 1]
- 35/766 ・ ・ ・ ラブドウイルス, 例 . 水疱性口内炎ウイルス [2 0 1 5 . 0 1]
- 35/768 ・ ・ ・ グループ A 6 1 K 3 5 / 7 6 1 ~ A 6 1 K 3 5 / 7 6 6 に分類されない腫瘍溶解性ウイルス [2 0 1 5 . 0 1]
- 36/00 藻類, 地衣類, 菌類もしくは植物またはそれらの派生物からの物質を含有する構造未知の医薬品製剤, 例 . 伝統的生薬 [8]

注

(1) このグループにおいては, 植物の一般名称は, それが記載されている場合は, これに相当するラテン語名に続いてかくて括弧で表記される。[8]

(2) このグループにおいては, インデキシングコード A 6 1 K 1 2 5 / 0 0 ~ A 6 1 K 1 3 5 / 0 0 を付加することが望ましい。[8]

- 36/02 ・ 藻類 [8]
- 36/03 ・ ・ 褐藻植物, 例 . ヒバマタ [8]
- 36/04 ・ ・ 紅藻植物, 例 . ノリ [8]
- 36/05 ・ ・ 緑藻植物, 例 . クロレラ [8]
- 36/06 ・ 菌類, 例 . 酵母 [8]
- 36/062 ・ ・ 子囊菌 [8]
- 36/064 ・ ・ ・ サッカロミセス科, 例 . パン酵母 [8]
- 36/066 ・ ・ ・ バッカクキン科 [8]
- 36/068 ・ ・ ・ 冬虫夏草属 [8]
- 36/07 ・ ・ 担子菌, 例 . 担子菌酵母 [8]
- 36/074 ・ ・ ・ 霊芝 [8]
- 36/076 ・ ・ ・ ブクリョウ [8]
- 36/09 ・ 地衣類 [8]
- 36/10 ・ コケ植物門 [8]
- 36/11 ・ シダ植物門 [8]
- 36/12 ・ ・ シダ綱 [8]
- 36/126 ・ ・ ・ ドリナリア科 [8]
- 36/13 ・ 球果植物門 [8]
- 36/14 ・ ・ ヒノキ科, 例 . ビャクシンまたはイトスギ [8]
- 36/15 ・ ・ マツ科, 例 . マツまたはヒマラヤスギ [8]
- 36/16 ・ イチョウ門, 例 . イチョウ科 [8]
- 36/17 ・ マオウ門, 例 . マオウ科 [8]
- 36/18 ・ 被子植物門 [8]
- 36/185 ・ ・ モクレン綱 (双子葉植物) [8]
- 36/19 ・ ・ ・ キツネノマゴ科 [8]
- 36/195 ・ ・ ・ イセハナビ属 [8]
- 36/20 ・ ・ ・ カエデ科 [8]
- 36/21 ・ ・ ・ ヒコ科, 例 . アオゲイトウ, ロックワートまたはセンニチコウ [8]
- 36/22 ・ ・ ・ ウルシ科, 例 . ハグマノキ, ウルシまたはポイズンオーク [8]
- 36/23 ・ ・ ・ セリ科, 例 . デイル, チャービル, コリアンダまたはクミン [8]
- 36/232 ・ ・ ・ シシウド属 [8]
- 36/233 ・ ・ ・ ミシマサイコ属 [8]
- 36/234 ・ ・ ・ ハマゼリ属 [8]
- 36/235 ・ ・ ・ ウイキョウ属 [8]
- 36/236 ・ ・ ・ マルバトウキ属 [8]
- 36/237 ・ ・ ・ キョウカツ [8]
- 36/238 ・ ・ ・ ボウフウ [8]
- 36/24 ・ ・ ・ キョウチクトウ科, 例 . プルメリアまたはツルニチソウ
- 36/25 ・ ・ ・ ウコギ科, 例 . アイヴィー, タラノキ, シェフレラまたはカミヤツデ [8]
- 36/254 ・ ・ ・ ウコギ属 [8]

36/258	・ ・ ・ ・ オタネニンジン属 [8]	36/44	・ ・ ・ カキノキ科, 例 . カキ [8]
36/26	・ ・ ・ ウマノスズクサ科, 例 . カンアオイ [8]	36/45	・ ・ ・ ツツジ科またはコケモモ科, 例 . ブルーベリー, クランベリーまたはビルベリー [8]
36/264	・ ・ ・ ・ ウマノスズクサ属 [8]	36/46	・ ・ ・ トチュウ科, 例 . トチュウ [8]
36/268	・ ・ ・ ・ フタバアオイ属 [8]	36/47	・ ・ ・ トウダイグサ科, 例 . ヒマ (トウゴマ) [8]
36/27	・ ・ ・ ガガイモ科, 例 . サクララン [8]	36/48	・ ・ ・ マメ科 ; ジャケツイバラ科 ; ネムノキ科 ; 蝶形花亜科 [8]
36/28	・ ・ ・ キク科, 例 . カモミール, ナツシロギク, ノコギリソウまたはエキナセア [8]	36/481	・ ・ ・ ・ ゲンゲ属 [8]
36/282	・ ・ ・ ・ ヨモギ属, 例 . ヨモギまたはヤマヨモギ [8]	36/482	・ ・ ・ ・ カワラケツメイ属, 例 . ナンバンサイカチ [8]
36/284	・ ・ ・ ・ オケラ属 [8]	36/483	・ ・ ・ ・ サイカチ属 [8]
36/285	・ ・ ・ ・ 唐木香 [8]	36/484	・ ・ ・ ・ カンゾウ属 [8]
36/286	・ ・ ・ ・ ベニバナ属 [8]	36/485	・ ・ ・ ・ ベイコウタイ属 [8]
36/287	・ ・ ・ ・ キク属, 例 . ヒナギク [8]	36/486	・ ・ ・ ・ ナツフジ属 [8]
36/288	・ ・ ・ ・ タンポポ属 [8]	36/487	・ ・ ・ ・ オランダビユ属 [8]
36/289	・ ・ ・ ・ 川木香 [8]	36/488	・ ・ ・ ・ クズ属 [8]
36/29	・ ・ ・ メギ科, 例 . メギ, ショウマまたはアメリカミヤオソウ [8]	36/489	・ ・ ・ ・ クララ属, 例 . イソフジまたはママネ [8]
36/296	・ ・ ・ ・ イカリソウ属 [8]	36/49	・ ・ ・ ブナ科, 例 . カシまたはトチ [8]
36/30	・ ・ ・ ムラサキ科, 例 . コンフリー, ラングワートまたはワスレナグサ [8]	36/50	・ ・ ・ ケマンソウ科, 例 . コマクサ [8]
36/31	・ ・ ・ アブラナ科, 例 . ブロッコリー, キャベツまたはコールラビ [8]	36/505	・ ・ ・ ・ キケマン属 [8]
36/315	・ ・ ・ ・ タイセイ属, 例 . ホソバタイセイ [8]	36/51	・ ・ ・ リンドウ科 [8]
36/32	・ ・ ・ カンラン科 [8]	36/515	・ ・ ・ ・ リンドウ属 [8]
36/324	・ ・ ・ ・ ボスヴェリア, 例 . 乳香 [8]	36/52	・ ・ ・ クルミ科 [8]
36/328	・ ・ ・ ・ コミフォラ属, 例 . 没薬またはギリアドバルサム [8]	36/53	・ ・ ・ シソ科, 例 . タイム, ローズマリーまたはラベンダー [8]
36/33	・ ・ ・ サボテン科, 例 . ウチワサボテンまたはハシラサボテン	36/532	・ ・ ・ ・ カワミドリ属, 例 . アガスタケ [8]
36/34	・ ・ ・ キキョウ科 [8]	36/533	・ ・ ・ ・ メハジキ属 [8]
36/342	・ ・ ・ ・ ツリガネニンジン属 [8]	36/534	・ ・ ・ ・ ハッカ属 [8]
36/344	・ ・ ・ ・ ツルニンジン属 [8]	36/535	・ ・ ・ ・ シソ属 [8]
36/346	・ ・ ・ ・ キキョウ属 [8]	36/536	・ ・ ・ ・ ウツボグサ属 [8]
36/35	・ ・ ・ スイカズラ科 [8]	36/537	・ ・ ・ ・ サルビア属 [8]
36/355	・ ・ ・ ・ スイカズラ属 [8]	36/538	・ ・ ・ ・ ケイガイ属 [8]
36/36	・ ・ ・ ナデシコ科, 例 . カスミソウまたはサボンソウ [8]	36/539	・ ・ ・ ・ タツナミソウ属 [8]
36/37	・ ・ ・ ニシキギ科, 例 . クロズルまたはオウシュウニシキギ [8]	36/54	・ ・ ・ クスノキ科, 例 . シナモンまたはサッサfras [8]
36/38	・ ・ ・ オトギリソウ科 (ヒペリカムまたはマンゴスチン科), 例 . コモン・セントジョーンズワート [8]	36/55	・ ・ ・ アマ科, 例 . アマ [8]
36/39	・ ・ ・ ヒルガオ科, 例 . ヒルガオ [8]	36/56	・ ・ ・ ホウライカズラ科, 例 . ノウゼンカズラまたはセッコソウ [8]
36/40	・ ・ ・ ミズキ科 [8]	36/57	・ ・ ・ モクレン科 [8]
36/41	・ ・ ・ ベンケイソウ科 [8]	36/575	・ ・ ・ ・ モクレン属 [8]
36/42	・ ・ ・ ウリ科 [8]	36/58	・ ・ ・ センダン科, 例 . インドセンダン (ニーム) [8]
36/424	・ ・ ・ ・ アマチャズル属 [8]	36/59	・ ・ ・ ツツラフジ科, 例 . アオツツラフジまたはコーラルビーズ [8]
36/428	・ ・ ・ ・ カラスウリ属 [8]	36/60	・ ・ ・ クワ科, 例 . パンノキまたはイチジク [8]
36/43	・ ・ ・ ネナシカズラ科, 例 . ネナシカズラまたはクシロネナシカズラ [8]	36/605	・ ・ ・ ・ クワ属 [8]
		36/61	・ ・ ・ フトモモ科, 例 . ティーツリーまたはユーカリ [8]
		36/62	・ ・ ・ スイレン科 [8]

A 6 1 K

36/63	・・・モクセイ科, 例. ジャスミン, ライラックまたはネリコノキ [8]				トマト, ペラドンナ, トウガラシまたは チョウセンアサガオ [8]
36/634	・・・レンギョウ属 [8]	36/815	・・・クコ属 [8]		
36/638	・・・イボタノキ属, 例. トウネズミモチ [8]	36/82	・・・ツバキ科, 例. ツバキ [8]		
36/64	・・・ハマウツボ科 [8]	36/83	・・・ジンチョウゲ科, 例. カワノキまたは フォルス・オヘロ [8]		
36/65	・・・ボタン科, 例. シャクヤク [8]	36/835	・・・ジンコウ属 [8]		
36/66	・・・ケシ科, 例. アカネグサ [8]	36/84	・・・オミナエシ科, 例. カノコソウ [8]		
36/67	・・・コショウ科, 例. ジャマイカンベツ パーまたはカバ [8]	36/85	・・・クマツヅラ科 [8]		
36/68	・・・オオバコ科 [8]	36/855	・・・クサギ属, 例. クサギ [8]		
36/69	・・・ヒメハギ科 [8]	36/86	・・・スミレ科 [8]		
36/70	・・・タデ科, 例. スピンフラワーまたは ギシギシ [8]	36/87	・・・ブドウ科, 例. ヨーロッパブドウ, マスカダインまたはペパー・パイン [8]		
36/704	・・・タデ属, 例. タデ [8]	36/88	・・・ユリ綱 (単子葉植物) [8]		
36/708	・・・ダイオウ属 [8]	36/882	・・・ショウブ科, 例. スイートフラッグ またはショウブ [8]		
36/71	・・・キンボウゲ科, 例. ヒエンソウ, ス ハマソウ, ヒドラスチス, オダマキまたは ゴールデンシール [8]	36/884	・・・オモダカ科 [8]		
36/714	・・・トリカブト属 [8]	36/886	・・・アロエ科, 例. アロエ・ベラ [8]		
36/716	・・・センニンソウ属 [8]	36/888	・・・サトイモ科, 例. カラジウム, カイ ウまたはミズバショウ [8]		
36/718	・・・オウレン属 [8]	36/8884	・・・テンナンショウ属, 例. マムシグ サ [8]		
36/72	・・・クロウメモドキ科, 例. クロウメモ ドキ, ハブラシノキまたはカサノキ [8]	36/8888	・・・ハンゲ属 [8]		
36/725	・・・ナツメ属, 例. ナツメ [8]	36/889	・・・ヤシ科, 例. ナツメヤシ若しくはコ コヤシの木またはパルメット [8]		
36/73	・・・バラ科, 例. イチゴ, チョコベリー, クロイチゴ, ナシまたはトキワサンザシ [8]	36/8895	・・・トウ属, 例. トウ [8]		
36/732	・・・ボケ属, 例. ボケ [8]	36/89	・・・カヤツリグサ科 [8]		
36/734	・・・サンザシ属 [8]	36/8905	・・・シベラス属 [8]		
36/736	・・・サクラ属, 例. スモモ, サクラ ンボ, モモ, アンズまたはアーモンド [8]	36/894	・・・ヤマノイモ科 [8]		
36/738	・・・バラ属 [8]	36/8945	・・・ヤムイモ, 例. ヤム, ナガイモま たはダイジョ [8]		
36/739	・・・ワレモコウ属 [8]	36/896	・・・ユリ科, 例. ゼンテイカ, ギボウシ, ヒヤシンスまたはスイセン [8]		
36/74	・・・アカネ科 [8]	36/8962	・・・ネギ属, 例. 栽培用タマネギ, ネ ギ, ニンニクまたはチャイブ [8]		
36/744	・・・クチナシ属 [8]	36/8964	・・・ハナスゲ [8]		
36/746	・・・ヤエヤマアオキ属 [8]	36/8965	・・・アスパラガス, 例. 栽培用アスパ ラガスまたはシノブボウキ [8]		
36/748	・・・フタバムグラ属 [8]	36/8966	・・・パイモ属, 例. ヨウラクユリまたは ミッションベル [8]		
36/75	・・・ミカン科 [8]	36/8967	・・・ユリ属, 例. オニユリまたはテッ ポウユリ [8]		
36/752	・・・ミカン属, 例. ライム, オレンジ またはレモン [8]	36/8968	・・・ジャノヒゲ属 [8]		
36/754	・・・ゴシュユ属 [8]	36/8969	・・・アマドコロ属 [8]		
36/756	・・・キハダ属, 例. キハダ [8]	36/898	・・・ラン科 [8]		
36/758	・・・サンショウ属, 例. サンショウ [8]	36/8984	・・・セッコク属 [8]		
36/76	・・・ヤナギ科, 例. ポプラ [8]	36/8988	・・・オニノヤガラ属 [8]		
36/77	・・・ムクロジ科, 例. ライチまたはムク ロジ [8]	36/899	・・・イネ科, 例. タケ, トウモロコシま たはサトウキビ [8]		
36/78	・・・ドクダミ科 [8]	36/8994	・・・ジュズダマ属 [8]		
36/79	・・・マツブサ科 [8]	36/8998	・・・オオムギ属 [8]		
36/80	・・・ゴマノハグサ科 [8]	36/90	・・・サルトリイバラ科, 例. サルトリイ バラまたはサルサバリラ [8]		
36/804	・・・ジオウ属 [8]				
36/808	・・・ゴマノハグサ属 [8]				
36/81	・・・ナス科, 例. タバコ, イヌホウズキ,				

36/902	・・・ミクリ科 [8]	38/05	・・・ジペプチド [2 0 0 6 . 0 1]
36/904	・・・ビャクブ科, 例 . ナベワリ [8]	38/06	・・・トリペプチド [2 0 0 6 . 0 1]
36/906	・・・ショウガ科 [8]	38/07	・・・テトラペプチド [2 0 0 6 . 0 1]
36/9062	・・・ハナミショウガ属, 例 . レッドジンジャーまたはリョウキョウ [8]	38/08	・・・5 ~ 1 1 のアミノ酸をもつペプチド [2 0 1 9 . 0 1]
36/9064	・・・アモナム属, 例 . ラウンドカルダモン [8]	38/09	・・・黄体形成ホルモン放出ホルモン [L H R H]; 関連ペプチド [2 0 0 6 . 0 1]
36/9066	・・・ウコン属, 例 . コモン・ターメリック, 東インドアロールートまたはマンガ・ジンジャー [8]	38/095	・・・オキシトシン; パソプレシン; 関連ペプチド [2 0 1 9 . 0 1]
36/9068	・・・ショウガ属, 例 . 栽培用ショウガ [8]	38/10	・・・1 2 ~ 2 0 のアミノ酸をもつペプチド [2 0 0 6 . 0 1]
38/00	ペプチドを含有する医療製剤 (- ラクタム環含有ペプチド A 6 1 K 3 1 / 0 0 ; 環状ジペプチドであって, その分子中にその環を形成するペプチド結合以外のペプチド結合を有しないもの, 例 . ピペラジン - 2 , 5 - ジオン A 6 1 K 3 1 / 0 0 ; エルゴリンに基づくペプチド A 6 1 K 3 1 / 4 8 ; 分子中に統計学的に分布されているアミノ酸単位を有する高分子化合物を含有するもの A 6 1 K 3 1 / 7 4 ; 抗原または抗体を含有する医療製剤 A 6 1 K 3 9 / 0 0 ; 不活性成分に特徴のある医療製剤, 例 . 薬剤担体としてのペプチド, A 6 1 K 4 7 / 0 0) [2 0 0 6 . 0 1]	38/12	・・・環状ペプチド [2 0 0 6 . 0 1]
		38/13	・・・サイクロスポリン [2 0 0 6 . 0 1]
		38/14	・・・糖類基を含有するペプチド; その誘導体 [2 0 0 6 . 0 1]
		38/15	・・・デブシペプチド; その誘導体 [2 0 0 6 . 0 1]
		38/16	・・・2 1 以上のアミノ酸をもつペプチド; ガストリン; ソマトスタチン; メラノトロピン; その誘導体 [2 0 0 6 . 0 1]
		38/17	・・・動物由来; ヒト由来 [2 0 0 6 . 0 1]
		38/18	・・・成長因子; 成長調節因子 [2 0 0 6 . 0 1]
		38/19	・・・サイトカイン; リンフォカイン; インターフェロン [2 0 0 6 . 0 1]
		38/20	・・・インターロイキン [2 0 0 6 . 0 1]
		38/21	・・・インターフェロン [2 0 0 6 . 0 1]
		38/22	・・・ホルモン (プロオピオメラノコルチン, プロエンケファリンまたはプロダイノルフィンから誘導したもの A 6 1 K 3 8 / 3 3 , 例 . コルチコトロピン A 6 1 K 3 8 / 3 5) [2 0 0 6 . 0 1]
		38/23	・・・カルシトニン [2 0 0 6 . 0 1]
		38/24	・・・卵胞刺激ホルモン [F S H]; 絨毛性性腺刺激ホルモン, 例 . H C G ; 黄体形成ホルモン [L H]; 甲状腺刺激ホルモン [T S H] [6]
		38/25	・・・成長ホルモン放出因子 [G H R F], すなわちソマトリベリン [2 0 0 6 . 0 1]
		38/26	・・・グルカゴン [2 0 0 6 . 0 1]
		38/27	・・・成長ホルモン [G H], すなわちソマトトロピン [2 0 0 6 . 0 1]
		38/28	・・・インシュリン [2 0 0 6 . 0 1]
		38/29	・・・副甲状腺ホルモン, すなわチラトルモン; 副甲状腺ホルモン関連ペプチド [2 0 0 6 . 0 1]
		38/30	・・・インシュリン様成長因子, すなわちソマトメジン, 例 . I G F - 1 , I G F - 2 [2 0 0 6 . 0 1]
		38/31	・・・ソマトスタチン [2 0 0 6 . 0 1]

注

(1) このグループで使用する用語や表現はサブクラス C 0 7 K のタイトルに続く (注) 1 の定義に厳密に従ったものである。[6]

(2) ペプチド断片を含む製剤, あるいはアミノ酸の除去や付加によって, またはアミノ酸の他のものへの置換によって, もしくはこうした修飾物の組み合わせによって修飾されたペプチドを含む製剤は, 親ペプチドを含む製剤として分類する。ただし 4 以下のアミノ酸しか持たないペプチド断片を含む製剤は, グループ 3 8 / 0 5 ~ 3 8 / 0 7 にも分類する。[6]

(3) 組換え DNA 技術によって製造されたペプチドを含む製剤は, ホストではなく発現させた元のペプチドに基づいて分類する, 例 . 大腸菌の中で発現させた H I V ペプチドを含む製剤は H I V ペプチドを含む製剤に分類する [6]

38/01 ・・・加水分解した蛋白質; その誘導体 [2 0 0 6 . 0 1]

38/02 ・・・不確定数のアミノ酸のペプチド; その誘導体 [2 0 0 6 . 0 1]

38/03 ・・・不確定配列または部分的にのみ確定した配列中にの 2 0 以下のアミノ酸をもつペプチド; その誘導体 [2 0 0 6 . 0 1]

38/04 ・・・完全に確定した配列中にの, 2 0 以下のアミノ酸をもつペプチド; その誘導体(ガストリン A 6 1 K 3 8 / 1 6 , ソマトスタチン A 6 1 K 3 8 / 3 1 , メラノトロピン A 6 1 K 3 8 / 3 4) [2 0 0 6 . 0 1]

A 6 1 K

- 38/32 ・・・・チモポイエチン[2 0 0 6 . 0 1]
- 38/33 ・・・・プロオピオメラノコルチン, プロエンケファリンまたはプロダイノルフィンから誘導したもの[2 0 0 6 . 0 1]
- 38/34 ・・・・メラノサイト刺激ホルモン[M S H], 例. - メラノトロピンまたは - メラノトロピン[6]
- 38/35 ・・・・コルチコトロピン[A C T H][6]
- 38/36 ・・・・血液凝固または繊維素溶解因子[2 0 0 6 . 0 1]
- 38/37 ・・・・第ⅤⅠⅠⅠ因子[2 0 0 6 . 0 1]
- 38/38 ・・・・アルブミン[2 0 0 6 . 0 1]
- 38/39 ・・・・結合組織ペプチド, 例. コラーゲン, エラスチン, ラミニン, フィブロネクチン, ビトロネクチン, 寒冷不溶性グロブリン[C I G][6]
- 38/40 ・・・・トランスフェリン, 例. ラクトフェリン, オボトランスフェリン[2 0 0 6 . 0 1]
- 38/41 ・・・・ポリフィリン環含有ペプチド, またはコリン環含有ペプチド[2 0 0 6 . 0 1]
- 38/42 ・・・・ヘモグロビン; ミオグロビン[2 0 0 6 . 0 1]
- 38/43 ・・・・酵素; 酵素前駆体; それらの誘導体[2 0 0 6 . 0 1]

注

このグループにおいては:

酵素前駆体は対応する酵素に分類する;

酵素は一般に国際酵素委員会の“ 酵素の命名および分類法” に従って分類する。該当する分類は以下のサブグループにおいて括弧内に表示する。[6]

- 38/44 ・・・・酸化還元酵素(1) [2 0 0 6 . 0 1]
- 38/45 ・・・・トランスフェラーゼ(2) [2 0 0 6 . 0 1]
- 38/46 ・・・・加水分解酵素(3) [2 0 0 6 . 0 1]
- 38/47 ・・・・グリコシル化合物に作用するもの(3 . 2), 例. セルラーゼ, ラクターゼ[2 0 0 6 . 0 1]
- 38/48 ・・・・ペプチド結合に作用するもの(3 . 4) [2 0 0 6 . 0 1]
- 38/49 ・・・・ウロキナーゼ; 組織プラスミノゲン活性化因子[2 0 0 6 . 0 1]
- 38/50 ・・・・ペプチド結合以外の炭素 - 窒素結合に作用するもの(3 . 5), 例. アスパラギナーゼ[2 0 0 6 . 0 1]
- 38/51 ・・・・リアーゼ(4) [2 0 0 6 . 0 1]
- 38/52 ・・・・イソメラーゼ(5) [2 0 0 6 . 0 1]
- 38/53 ・・・・リガーゼ(6) [2 0 0 6 . 0 1]
- 38/54 ・・・・A 6 1 K 3 8 / 4 4 ~ A 6 1 K 3 8 / 4 6 , またはA 6 1 K 3 8 / 5 1 ~ A 6 1 K 3 8 / 5 3 の, 2 以上のグループに分類される酵素または酵素前駆体の混合物[2 0 0 6 . 0 1]

- 38/55 ・・・・プロテアーゼ阻害剤[2 0 0 6 . 0 1]
- 38/56 ・・・・植物由来[2 0 0 6 . 0 1]
- 38/57 ・・・・動物由来; ヒト由来[2 0 0 6 . 0 1]
- 38/58 ・・・・ヒル由来, 例. ヒルジン, エグリン[2 0 0 6 . 0 1]
- 39/00 抗原または抗体を含有する医薬品製剤(免疫分析用物質G 0 1 N 3 3 / 5 3) [2]

注

(1) 抗原あるいは抗体組成物の調製は, 微生物の培養工程に特徴がある場合, サブクラスC 1 2 Nにも分類する。[3]

(2) グループ3 9 / 0 0 2 から3 9 / 1 2 は, 原生動物, バクテリア, ウィルスまたはそれらのサブユニットを含む製剤, 例. 膜成分, を包含する。[3]

- 39/002 ・原生動物抗原[3]
- 39/005 ・・・・トリパノゾーマ抗原[3]
- 39/008 ・・・・リーシュマニア抗原[3]
- 39/012 ・・・・コクシジウム抗原[3]
- 39/015 ・・・・住血胞子虫抗原, 例. プラズモジウム抗原[3]
- 39/018 ・・・・バベシア抗原, 例. タイレリア抗原[3]
- 39/02 ・バクテリアの抗原[2]
- 39/04 ・・・・ミコバクテリウム属, 例. 結核菌[2 , 3]
- 39/05 ・・・・コリネバクテリウム属; プロピオンバクテリウム属[3]
- 39/07 ・・・・桿菌[3]
- 39/08 ・・・・クロストリジウム属, 例. 破傷風菌[2]
- 39/085 ・・・・ブドウ球菌[3]
- 39/09 ・・・・連鎖球菌[3]
- 39/095 ・・・・ナイセリア属[3]
- 39/10 ・・・・ブルセラ属; ボルデテラ属, 例. 百日咳菌[2 , 3]
- 39/102 ・・・・パスツレラ属; ヘモフィラス属[3]
- 39/104 ・・・・シュードモナス属[3]
- 39/106 ・・・・ビブリオ; カンピロバクター[3]
- 39/108 ・・・・エシエリヒア属; クレブシエラ属[3]
- 39/112 ・・・・サルモネラ属; シゲラ属[3]
- 39/114 ・・・・フゾバクテリウム属[3]
- 39/116 ・・・・多価バクテリア抗原[3]
- 39/118 ・クラミジア, 例. トラコーマクラミジアまたはオウム病クラミジア[3]
- 39/12 ・ウィルス抗原[2]
- 39/125 ・・・・ピコルナウイルス科, 例. カリシウイルス[3]
- 39/13 ・・・・ポリオウイルス[3]
- 39/135 ・・・・口蹄疫ウイルス[3]
- 39/145 ・・・・オルソミクソウイルス科, 例. インフルエンザウイルス[3]
- 39/15 ・・・・レオウイルス科, 例. 子牛の下痢ウイルス[3]
- 39/155 ・・・・パラミクソウイルス科, 例. パライン

	フルエンザウイルス [3]	1]	
39/165	・ ・ ・ ムンプスまたは麻疹ウイルス [3]	40/10	・ 用いられる細胞の種類に特徴のあるもの [2 0 2 5 . 0 1]
39/17	・ ・ ・ ニューカッスル病ウイルス [3]		
39/175	・ ・ ・ 犬のジステンパーウイルス [3]	40/11	・ ・ T細胞, 例. 腫瘍浸潤リンパ球 [T I L] または制御性T [T r e g] 細胞; リンホカイン活性化キラー [L A K] 細胞 [2 0 2 5 . 0 1]
39/187	・ ・ 豚コレラウイルス [3]		
39/193	・ ・ 馬の脳脊髄炎ウイルス [3]		
39/20	・ ・ 風疹ウイルス [2]		
39/205	・ ・ ラブドウイルス科, 例. 狂犬病ウイルス [3]	40/13	・ ・ B細胞 [2 0 2 5 . 0 1]
39/21	・ ・ レトロウイルス科, 例. 馬伝染性貧血ウイルス [3]	40/15	・ ・ ナチュラルキラー [N K] 細胞; ナチュラルキラーT [N K T] 細胞 [2 0 2 5 . 0 1]
39/215	・ ・ コロナウイルス科, 例. ニワトリ伝染性気管支炎ウイルス [3]	40/17	・ ・ 単球; マクロファージ [2 0 2 5 . 0 1]
39/225	・ ・ ・ 豚伝染性胃腸炎ウイルス [2 0 0 6 . 0 1]	40/19	・ ・ 樹状細胞 [2 0 2 5 . 0 1]
39/23	・ ・ パルボウイルス科, 例. 猫汎白血球減少症ウイルス [3]	40/20	・ 細胞の効能または機能に特徴のあるもの [2 0 2 5 . 0 1]
39/235	・ ・ アデノウイルス科 [3]	40/22	・ ・ 免疫抑制性または免疫寛容性 [2 0 2 5 . 0 1]
39/245	・ ・ ヘルペスウイルス科, 例. 単純性ヘルペスウイルス [3]	40/24	・ ・ 抗原提示細胞 [A P C] [2 0 2 5 . 0 1]
39/25	・ ・ ・ 水痘一帯状疱疹ウイルス [3]	40/30	・ 免疫系の細胞中の特定の分子の組換え発現に特徴のあるもの [2 0 2 5 . 0 1]
39/255	・ ・ ・ マレック病ウイルス [3]		
39/265	・ ・ ・ 伝染性気管支炎ウイルス [3]	40/31	・ ・ キメラ抗原受容体 [C A R I] [2 0 2 5 . 0 1]
39/27	・ ・ ・ 馬の肺炎ウイルス [3]	40/32	・ ・ T細胞受容体 [T C R] [2 0 2 5 . 0 1]
39/275	・ ・ ポックスウイルス科, 例. アビポックスウイルス [3]	40/33	・ ・ 抗体; T細胞エンゲージャー [2 0 2 5 . 0 1]
39/285	・ ・ ・ 種痘ウイルスまたは痘瘡ウイルス [3]	40/34	・ ・ 抗原性ペプチド [2 0 2 5 . 0 1]
39/29	・ ・ 肝炎ウイルス [3]	40/35	・ ・ サイトカイン [2 0 2 5 . 0 1]
39/295	・ ・ 多価ウイルス抗原 (種痘ウイルスまたは痘瘡ウイルス A 6 1 K 3 9 / 2 8 5); ウイルス抗原とバクテリア抗原との多価抗原 [3]	40/36	・ ・ 免疫チェックポイント阻害剤 [2 0 2 5 . 0 1]
39/35	・ アレルゲン [3]	40/40	・ 免疫系の細胞により標的とされる, または提示される抗原に特徴のあるもの [2 0 2 5 . 0 1]
39/36	・ ・ 花粉からのもの [2 , 3]		
39/38	・ 蛇からの抗原 [2]	40/41	・ ・ 脊椎動物の抗原 [2 0 2 5 . 0 1]
39/385	・ 担体に結合したハプテンまたは抗原 [3]	40/42	・ ・ ・ がん抗原 [2 0 2 5 . 0 1]
39/39	・ 免疫促進付加物によって特徴づけられたもの, 例. 化学的アジュバント [3]	40/43	・ ・ 原生動物抗原 [2 0 2 5 . 0 1]
39/395	・ 抗体 (凝集素 A 6 1 K 3 8 / 3 6); 免疫グロブリン; 免疫血清, 例. 抗リンパ球血清 [3]	40/44	・ ・ 真菌抗原 [2 0 2 5 . 0 1]
39/40	・ ・ バクテリア性のもの [2 , 3]	40/45	・ ・ バクテリアの抗原 [2 0 2 5 . 0 1]
39/42	・ ・ ウイルス性のもの [2 , 3]	40/46	・ ・ ウイルス抗原 [2 0 2 5 . 0 1]
39/44	・ ・ 担体に結合した抗体 [2 , 3]	40/48	・ ・ アレルゲン [2 0 2 5 . 0 1]
40/00	細胞免疫療法 (抗原または抗体を含有する医薬品製剤 A 6 1 K 3 9 / 0 0) [2 0 2 5 . 0 1]	40/50	・ 同種異系細胞の使用に特徴のあるもの [2 0 2 5 . 0 1]
注		41/00	波動エネルギーまたは粒子線で物質を処理することによって得られる医薬品製剤 [2 0 2 0 . 0 1]
1 . このグループは, 治療において用いるための特定の抗原または抗原の混合物を提示するまたは標的とする免疫系の分離細胞を包含する。		41/10	・ 動物またはヒトへの投与前の医薬品製剤の不活性化または汚染除去 [2 0 2 0 . 0 1]
2 . このメイングループではラストプレイス優先ルールが適用されない, すなわち共通ルールが適用される。 [2 0 2 5 . 0		41/13	・ ・ 超音波によるもの [2 0 2 0 . 0 1]
		41/17	・ ・ 紫外光 [U V] または赤外光 [I R], X線またはガンマ線によるもの [2 0 2

A 6 1 K

- 0 . 0 1]
- 45/00 A 6 1 K 3 1 / 0 0 ~ A 6 1 K 4 1 / 0 0
に属さない活性成分を含有する医薬品製剤
[2 , 6]
- 45/06 ・化学的特性をもたない活性成分の混合物,
例 . 消炎剤および強心剤 [2]
- 45/08 ・活性物質と化学的に特徴のない補助物質,
例 . 抗ヒスタミン剤および表面活性物質,
との混合物 [2]
- 47/00 使用する不活性成分, 例 . 担体または不活
性添加剤, に特徴のある医薬品製剤; 活性
成分と化学結合した標的剤または修飾剤
[2]
- 47/02 ・無機物質 [5]
- 47/04 ・・非金属元素; その化合物 [5]
- 47/06 ・有機物質, 例 . 天然または合成の炭化水
素, ポリオレフィン, 鉱油, ペトロラタ
ムまたはオゾケライト [5]
- 47/08 ・・酸素を含有するもの [5]
- 47/10 ・・・アルコール; フェノール; それらの
塩, 例 . グリセリン; ポリエチレングリ
コール [P E G]; ポロキサマー; P E G
/ P O E アルキルエーテル [2 0 1 7 .
0 1]
- 47/12 ・・・カルボン酸; その塩または無水物 [2
0 0 6 . 0 1]
- 47/14 ・・・カルボン酸のエステル, 例 . 脂肪酸
モノグリセリド, 中鎖トリグリセリド,
パラベンまたは P E G 脂肪酸エステル
[2 0 1 7 . 0 1]
- 47/16 ・・窒素を含有するもの [2 0 0 6 . 0 1]
- 47/18 ・・・アミン; アミド; 尿素; 第四級アン
モニウム化合物; アミノ酸; 5 個までの
アミノ酸を有するオリゴペプチド [2 0
1 7 . 0 1]
- 47/20 ・・硫黄を含有するもの, 例 . ジメチルス
ルホキシド [D M S O], ドクサート, ラ
ウリル硫酸ナトリウムまたはアミノスル
ホン酸 [2 0 0 6 . 0 1]
- 47/22 ・・複素環式化合物, 例 . アスコルビン酸,
トコフェロールまたはピロリドン [2 0
0 6 . 0 1]
- 47/24 ・・炭素, 水素, 酸素, ハロゲン, 窒素ま
たは硫黄以外の原子を含有するもの, 例 .
シクロメチコンまたはリン脂質 [2 0 0
6 . 0 1]
- 47/26 ・・炭水化物, 例 . 糖アルコール, アミノ
糖, 核酸, 単糖, 二糖またはオリゴ糖;
その誘導体, 例 . ポリソルベート, ソル
ビタン脂肪酸エステルまたはグリチルリ
チン [2 0 0 6 . 0 1]
- 47/28 ・・ステロイド, 例 . コレステロール, 胆
汁酸またはグリチルレチン酸 [2 0 0 6 .

- 0 1]
- 47/30 ・高分子有機化合物または高分子無機化合
物, 例 . 無機ポリリン酸 [2 0 0 6 . 0
1]
- 47/32 ・・炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する
反応によって得られる高分子化合物, 例 .
カルボマー [2 0 0 6 . 0 1]
- 47/34 ・・炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する
反応以外の反応によって得られる高分子
化合物, 例 . ポリエステル, ポリアミノ
酸, ポリシロキサン, ポリホスファゼン,
ポリアルキレングリコールの共重合体ま
たはポロキサマーの共重合体 (A 6 1 K
4 7 / 1 0 が優先) [2 0 1 7 . 0 1]
- 47/36 ・・多糖類; その誘導体, 例 . ガム, でん
ぶん, アルギン酸, デキストリン, ヒア
ルロン酸, キトサン, イヌリン, 寒天ま
たはペクチン [2 0 0 6 . 0 1]
- 47/38 ・・・セルロース; その誘導体 [2 0 0 6 .
0 1]
- 47/40 ・・・シクロデキストリン; その誘導体 [2
0 0 6 . 0 1]
- 47/42 ・・蛋白質; ポリペプチド; それらの分解
生成物; それらの誘導体, 例 . アルブミ
ン, ゼラチンまたはゼイン (5 個までの
アミノ酸を有するオリゴペプチド A 6 1
K 4 7 / 1 8 ; ポリアミノ酸 A 6 1 K 4
7 / 3 4) [2 0 1 7 . 0 1]
- 47/44 ・ A 6 1 K 4 7 / 0 2 ~ A 6 1 K 4 7 / 4
2 の 2 以上のグループに該当する油, 脂
肪またはワックス; 天然の油または変性
された天然の油, 脂肪またはワックス,
例 . ヒマシ油, ポリエトキシ化ヒマシ油,
モンタンワックス, リグナイト, シェラ
ック, ロジン, 蜜蝋またはラノリン (合
成グリセリド, 例 . 中鎖トリグリセリド
A 6 1 K 4 7 / 1 4) [2 0 1 7 . 0 1]
- 47/46 ・構造不明の成分またはその反応生成物,
例 . 皮膚, 骨, 乳, 木綿繊維, 卵殻, 雄
牛の胆汁または植物抽出物 [2 0 0 6 .
0 1]
- 47/50 ・活性成分と化学結合した不活性成分, 例 .
重合体医薬結合体 [2 0 1 7 . 0 1]
- 47/51 ・・不活性成分が修飾剤であるもの [2 0
1 7 . 0 1]
- 47/52 ・・・修飾剤が無機物質であるもの, 例 .
活性成分と複合体化された無機イオン
[2 0 1 7 . 0 1]
- 47/54 ・・・修飾剤が有機化合物であるもの [2
0 1 7 . 0 1]
- 47/55 ・・・修飾剤が薬理学的または治療的に
活性剤でもあるもの, すなわち, 結合体
の全部がコドラッグであるもの [2 0 1

- 7 . 0 1]
- 47/56 ・ ・ ・ 修飾剤が有機高分子化合物であるもの, 例 . オリゴマー, ポリマーまたはデンドリマー [2 0 1 7 . 0 1]
- 47/58 ・ ・ ・ ・ 炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られるもの, 例 . ポリ (メタ) アクリレート, ポリアクリルアミド, ポリスチレン, ポリビニルピロリドン, ポリビニルアルコールまたはポリスチレンスルホン酸樹脂 [2 0 1 7 . 0 1]
- 47/59 ・ ・ ・ ・ 炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られるもの, 例 . ポリ尿素またはポリウレタン [2 0 1 7 . 0 1]
- 47/60 ・ ・ ・ ・ ・ 有機高分子化合物がポリオキシアルキレンのオリゴマー, ポリマーまたはデンドリマーであるもの, 例 . P E G , P P G , P E O またはポリグリセロール [2 0 1 7 . 0 1]
- 47/61 ・ ・ ・ ・ 有機高分子化合物が多糖体またはその誘導体であるもの [2 0 1 7 . 0 1]
- 47/62 ・ ・ ・ 修飾剤が蛋白質, ペプチドまたはポリアミノ酸であるもの [2 0 1 7 . 0 1]
- 47/64 ・ ・ ・ ・ 医薬とペプチドの結合体, 医薬と蛋白質の結合体または医薬とポリアミノ酸の結合体, すなわち, 修飾剤が治療的活性剤に共有結合または複合体化したペプチド, 蛋白質またはポリアミノ酸であるもの (ペプチド性のリンカー A 6 1 K 4 7 / 6 5) [2 0 1 7 . 0 1]
- 47/65 ・ ・ ・ ・ ペプチド性のリンカー, 連結剤, スペースャー, 例 . 酵素に不安定なペプチド性のリンカー [2 0 1 7 . 0 1]
- 47/66 ・ ・ ・ ・ 修飾剤が特定の細胞を標的にするためにペプチドまたは蛋白質が関与するプレターゲティングシステムであるもの [2 0 1 7 . 0 1]
- 47/68 ・ ・ ・ 修飾剤が抗体, 免疫グロブリンまたはそれらの断片であるもの, 例 . F c 断片 [2 0 1 7 . 0 1]
- 47/69 ・ ・ 結合体が物理的形態またはガレヌス形態に特徴を有するものであるもの, 例 . エマルジョン, 粒子, 包接複合体, ステントまたはキット [2 0 1 7 . 0 1]
- 48/00 遺伝子疾病を治療するために生体の細胞内に挿入する遺伝子物質を含有する医療用製剤; 遺伝子治療 [5]
- 49/00 生体内試験のための製剤 [3]
- 49/04 ・ X 線造影剤 [3]
- 49/06 ・ 核磁気共鳴 [N M R] 造影剤; 磁気共鳴映像法 [M R I] 造影剤 [2 0 0 6 . 0 1]
- 49/08 ・ ・ 担体に特徴があるもの [7]
- 49/10 ・ ・ ・ 有機化合物 [7]
- 49/12 ・ ・ ・ ・ 高分子化合物 [7]
- 49/14 ・ ・ ・ ・ ペプチド, 例 . 蛋白質 [7]
- 49/16 ・ ・ ・ ・ ・ 抗体; 免疫グロブリン; その断片 [7]
- 49/18 ・ ・ 特別な物理的形態に特徴があるもの, 例 . エマルジョン, マイクロカプセル, リボソーム [7]
- 49/20 ・ ・ フリーラジカルを含むもの [7]
- 49/22 ・ エコーグラフ用製剤; 超音波映像用製剤 [2 0 0 6 . 0 1]
- 50/00 生体内での治療または検査で使用する導電剤, 例 . 心電計 [E C G] または経皮薬投与のために電極と共に使用される導電性接着剤またはゲル [2 0 0 6 . 0 1]
- 51/00 生体内での治療または検査に用いる放射性物質を含有する製剤 [2 0 0 6 . 0 1]
- 注
このグループにおいては, グループ 1 0 1 / 0 0 ~ 1 0 3 / 0 0 のインデキシングコードを付加することが望ましい。 [6]
- 51/02 ・ 担体に特徴のあるもの [2 0 0 6 . 0 1]
- 51/04 ・ ・ 有機化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 51/06 ・ ・ ・ 高分子化合物 [2 0 0 6 . 0 1]
- 51/08 ・ ・ ・ ペプチド, 例 . 蛋白質 [2 0 0 6 . 0 1]
- 51/10 ・ ・ ・ 抗体または免疫グロブリン; それらのフラグメント [2 0 0 6 . 0 1]
- 51/12 ・ 特別な物理的形態に特徴のあるもの, 例 . 乳濁液, マイクロカプセル, リボソーム [2 0 0 6 . 0 1]
- 放射性物質の性質または活性に関し, グループ 5 1 / 0 0 と関連するインデキシング系列 [6]
- 101/00 放射性非金属 [6]
- 101/02 ・ ハロゲン [6]
- 103/00 放射性金属 [6]
- 103/10 ・ テクネチウム; レニウム [6]
- 103/20 ・ インジウム [6]
- 103/30 ・ 希土類元素 [6]
- 103/32 ・ ・ イットリウム [6]
- 103/34 ・ ・ ガドリニウム [6]
- 103/36 ・ ・ イッテルビウム [6]
- 103/40 ・ アクチニド [6]
- 医薬活性を有する植物の各部位に関し, グループ 3 6 / 0 0 と関連するインデキシング系列 [8]
- 125/00 根, 球根, 塊茎, 球茎または地下茎を含有するものまたはこれから得られるもの [8]
- 127/00 葉を含有するものまたはこれから得られるもの [8]
- 129/00 樹皮を含有するものまたはこれから得られ

A 6 1 K

るもの [8]

- 131/00 種子，木の実，果実または穀物を含有する
ものまたはこれから得られるもの [8]
- 133/00 花を含有するものまたはこれらから得られ
るもの [8]
- 135/00 茎，柄，枝，小枝または新芽を含有するも
のまたはこれらから得られるもの [8]